

消 防 年 報

平成 2 9 年度版



小 豆 地 区 消 防 本 部
(平成 3 0 年刊行)

は し が き

1. この年報は、平成29年中における小豆地区消防本部の業務に関する

諸般の事項についてその実態を収録し、広く一般に紹介するとともに将

来の消防防災活動の資料とするため作成しました。

2. この統計中、予算関係事項については会計年度とし、火災・救急統計

は歴年、その他については当該表右上部に収録期日を表しています。

平成30年9月

小豆地区消防本部

目 次

総 務

1. 位置及び自然的条件	1
2. 管内図と消防本部・署の位置	2
3. 小豆郡内常備消防の沿革	3
4. 消防の沿革（組合）	4～15
5. 主たる総務行事	16
6. 歴代消防長	17
7. 歴代消防署長	18
8. 消防の組織・機構	19
9. 事務分掌	20～21
10. 管内面積及び人口・世帯数	21
11. 消防庁舎の現状	22
12. 職員の勤務年数	22
13. 職員の年齢	23
14. 職員の配置状況	23
15. 消防力の現勢	24
16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合	24
17. 消防予算	25
18. 平成30年度町別一般会計予算と消防予算	25
19. 消防費基準財政需要額及び町負担金	25
20. 職員特殊技能資格取得状況	26
21. 職員教養状況調	27
22. 職員居住地調	27
23. 職員任用退職状況調	28
24. 職員の推移	29

予 防

1. 主たる予防行事	30
2. 「防火優良認定証」交付対象物状況	30
3. 自主防災組織の現況	30～31
4. 防火対象物現況表	32
5. 防火管理者選任届状況	33
6. 建築同意事務処理状況	34～35
7. 危険物施設の現況	36
8. 危険物施設の許認可状況	36
9. 各種届出事務処理状況	37
10. 広報・広聴実施状況	37
11. 中高層建築物（4階以上）の現況表	38

消 防 防 災

1. 主たる警防行事	3 9
2. 主たる救急行事	3 9
3. 消防車両等配置状況	4 0
4. 主な機械器具の配置状況	4 1～4 2
5. 消火薬剤の備蓄状況	4 2
6. 消防水利の現況	4 3
7. 防災関係届出事務処理状況	4 3
8. 災害別出動状況	4 3
9. 救急法指導状況	4 4

情 報 指 令

1. 消防通信指令システム系統図	4 5
2. 通信施設状況	4 6～4 8
3. 119番受信状況	4 9
4. 気象状況（観測地：消防本部）	4 9
5. 気象情報受理状況	5 0

火 災 統 計

1. 火災発生状況	5 1
2. 時間別火災状況	5 2
3. 月・曜日別火災状況	5 2
4. 月別火災状況	5 3
5. 覚知別火災状況	5 3
6. 原因別火災状況	5 3
7. 建物火災用途別火災状況	5 4
8. 過去10ヶ年の火災状況	5 4

救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況	5 5
2. 覚知別救急出場状況	5 5
3. 医療機関等収容可能状況照会回数	5 5
4. 救急隊員の行った応急処置数	5 6
5. 時間別救急出場状況	5 6
6. 曜日別救急出場状況	5 7
7. 現場到着所要時間別出場状況	5 7
8. 収容所要時間別搬送人員	5 7
9. 年齢区分別搬送人員	5 8
10. 発生場所別搬送人員	5 8
11. 管轄外転院搬送件数	5 8
12. 傷病程度別搬送人員	5 9
13. 小豆2町、年別救急出場状況	5 9
14. 過去10ヶ年の主な救急出場状況	5 9

消 防 団

1. 2町消防団現勢分布図	6 0
2. 消防団の組織・機構	6 1
3. 消防団員の勤務年数及び年齢	6 2
4. 消防団員数及び装備状況	6 2～6 3
5. 町別消防車両等種別現況	6 3～6 4
6. 消防団員報酬調	6 4
7. 消防団員諸手当調	6 4

総務



総 務

1. 位置及び自然的条件

小豆島は、香川県の北東部に位置し、瀬戸大橋と鳴門大橋が展望でき、瀬戸内海では淡路島に次いで大きな島であり、土庄町、小豆島町の2町で構成されている。

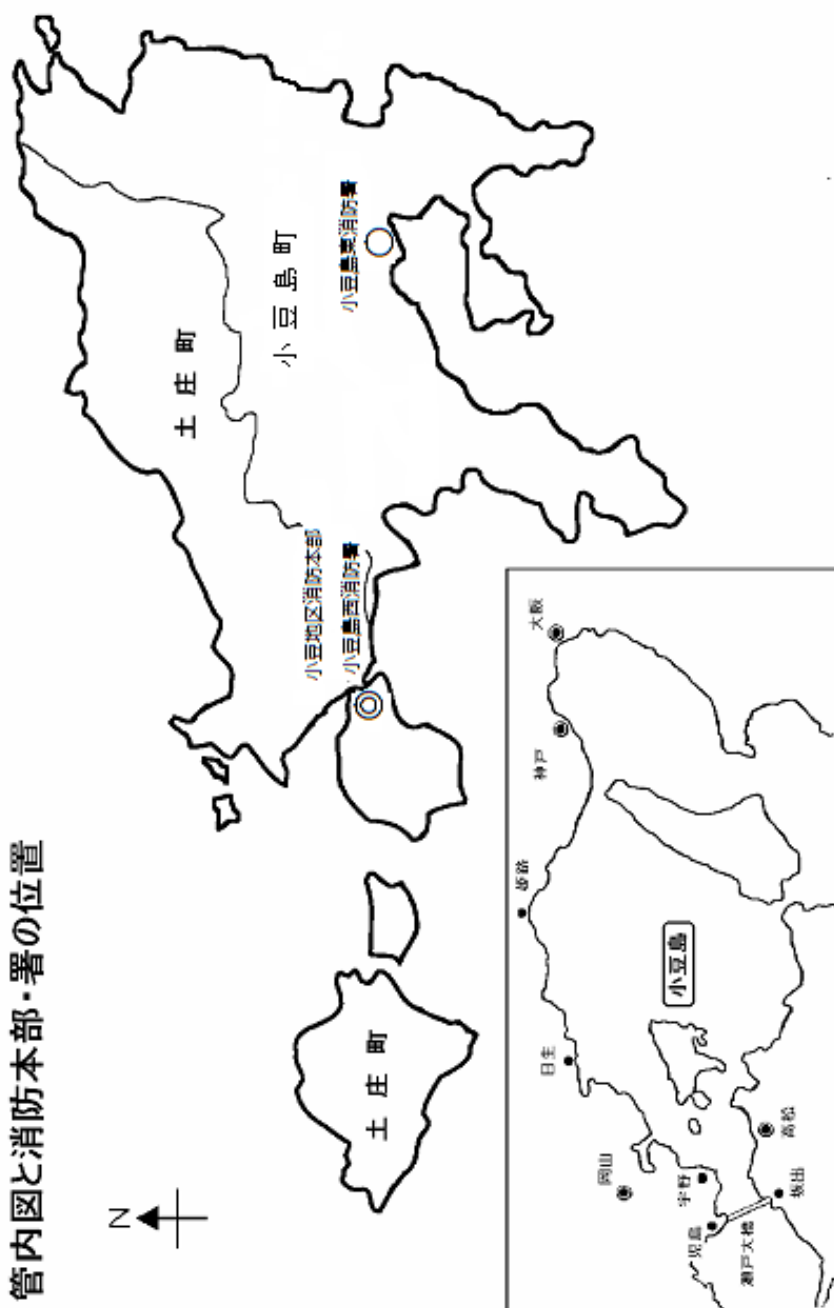
地形は、全島ほとんどが花崗岩を基盤とする山地で、平坦地は主として、南に向けて開けており、東西及び北に面する地域は、山が急斜面をなして海中に入り、極めて小さな平坦地が点在する。

奇峰の多い山岳地形の中には、瀬戸内海地域における最高峰816mの星ヶ城山を有し、また、海岸線はリアス式海岸特有の美しい曲線を描いており、小豆島は、瀬戸内海国立公園「寒霞溪」をはじめ豊かな観光資源に恵まれている。

四季を通じて温和な気候に恵まれ、全国でも名を高めている醤油、佃煮、手延そうめん等の製造及び電照菊の栽培が盛んであり、中でも県花、県木となっているオリーブの栽培に適し南国情緒豊かな島である。



2. 管内図と消防本部・署の位置



3. 小豆郡内常備消防の沿革

内 海 町

昭和 37 年 4 月	内海町消防団常備部を新設し、常勤消防団員 3 名採用する。
6 月	常勤消防団員 1 名内海町へ。
10 月	常勤消防団員 2 名採用、初動態勢の確立を期し常備消防業務を開始する。 夜間は常勤消防団員 2 名、非常勤消防団員 3 名にて当直を実施し初動態勢の強化を図った。(昭和 38 年 3 月まで実施)
昭和 38 年 4 月	常勤消防団員 3 名採用、常勤消防団員 7 名となる。
7 月	消防庁舎を安田甲 1 4 4 の 9 0 (町役場敷地内) に新築する。
10 月	常勤消防団員 1 名増員 (内海町より) 常勤消防団員 8 名となる。
昭和 41 年 8 月	常勤消防団員 1 名退職し、1 名採用する。
昭和 45 年 3 月	常勤消防団員 1 名退職、常勤消防団員 7 名となる。
4 月	内海町消防団常備部を廃止し、内海町消防本部を新設する。職員 3 名採用、職員 10 名となり、災害早期覚知、早期出動及び予防行政の強化を期し、その任にあたる。

土 庄 町

昭和 38 年 4 月	高層大型化する町内旅館群等の急増から予防行政の強化を期し、町役場内に土庄町消防本部を新設、職員 4 名にてその任にあたる。夜間当直 1 名。
10 月	消防本部内に兼務消防隊 (役場職員 12 名) を設置し、初動態勢の強化を図った。
昭和 39 年 4 月	消防本部を土庄町甲 6 1 2 (土庄分団屯所内) へ移転する。 職員 3 名を採用し、専任職員 7 名となる。
昭和 41 年 4 月	職員 1 名土庄町へ、職員 1 名採用する。
10 月	レンジャー訓練を開始する。
昭和 42 年 6 月	職員 3 名を採用し、専任職員 10 名となる。
11 月	専任職員 2 名を編成して旅館群、病院等の夜間パトロールを開始。 (本年より毎年火災多発期の 11 月～3 月実施) 夜間当直 2 名。
昭和 43 年 4 月	政令指定により消防本部内に土庄消防署を設置する。
6 月	職員 3 名増員 (土庄町より) 専任職員 13 名となる。 消防本部・署を土庄町甲 5 6 1 (旧土庄中学校) へ移転する。
昭和 44 年 4 月	職員 4 名採用し専任職員 17 名となる。
10 月	消防署の編成を 1 車隊 6 名とし、隔日勤務体制を敷く。
昭和 45 年 2 月	消防本部・署を土庄町湊崎甲 2 0 4 4 (旧土地改良事務所) へ移転する。
4 月	女性職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 18 名となる。
昭和 46 年 7 月	職員 1 名増員 (土庄町より) 職員 19 名となる。
昭和 47 年 3 月	職員 2 名土庄町へ、職員 17 名となる。

消防組合設立への機運

昭和45年1月12日池田町内の2ヵ所から同時に出火した林野火災は延々3日間にわたり燃え続け、1月14日 延べ524haを焼失し鎮火となった。全国史上9番目の大火となったが、この火災を教訓に島内消防力の強化と指揮権の一本化、効率的な運用が叫ばれ、消防組合設立への機運が本格化したものである。

4. 消防の沿革（組合）

昭和 46 年 7 月	小豆3町広域消防促進協議会を設置、会長に大森土庄町長、副会長に川北内海町長、佐々木池田町長を選出。 構成メンバー（3町町長、3町議長、3町総務課長、3町消防団長、土庄町消防本部消防長）
9 月	広域消防整備計画案を決定、各町議会において、小豆地区消防組合規約が議決される。
10 月	広域消防組合政令指定を希望する旨、消防庁に申請する。
11 月	香川県知事より一部事務組合の発足について許可される。
12 月	土庄町消防本部にて、小豆地区消防組合職員の採用試験が実施される。
昭和 47 年 3 月	小豆3町広域消防促進協議会を解散する。
4 月	小豆地区消防組合発足、事務所を旧土庄町消防本部に置く。 初代管理者に内海町長川北四十二氏が就任。 初代消防長及び消防署長に清水勝氏が任命される。 消防職員16名採用、内海町より1名、池田町より1名、職員総数45名となる。
5 月	消防職員1名、女性事務職員1名採用、職員総数47名となる。
6 月	消防本部、消防署合同庁舎の建設工事に着手する。消防職員1名内海町へ、職員総数46名となる。
7 月	消防署池田分署庁舎の建設工事に着手する。消防署内海分署へ消防本部より職員1名配置し、11名となる。
9 月	消防署内海分署庁舎の建設工事に着手する。
10 月	救急車（トヨタハイエース2B型）を購入し、消防署において救急業務を開始する。同時に救急要員6名を増員、消防署員数21名となる。
12 月	消防ポンプ車（ニッサンFH60型）2台購入、消防署及び内海分署に配置する。
昭和 48 年 1 月	消防本部・消防署合同庁舎落成し、（土庄町甲557-4）移転する。 消防署池田分署庁舎落成し（池田町大字池田2099-4）業務を開始する。 分署署員数 2名 消防ポンプ車 1台
3 月	消防署と内海分署に無線基地局を設置、移動局4基、携帯局4基とあわせて業務を開始する。 日本損害保険協会より土庄町が消防ポンプ車（トヨタFJ55V）の寄贈を受

	け小豆地区消防組合へ移管し消防署へ配置する。(旧ポンプ車は池田分署へ配置する。) 消防職員 1 名退職、職員総数 4 5 名となる。
4 月	「消防本部及び消防署を設置しなければならない町村」として政令指定を受け消防職員 1 7 名を採用、職員総数 6 2 名となる。池田分署へ 3 名増員し、分署署員 5 名となり、夜間は通信員 1 名常駐する。 内海分署庁舎落成し(内海町安田甲 1 4 4 - 9 0) 移転する。
5 月	消防職員 1 名土庄町へ、職員総数 6 1 名となる。
7 月	消防職員 1 名退職し、職員総数 6 0 名となる。
8 月	内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。 消防職員 1 名退職し、職員総数 5 9 名となる。
9 月	無線移動局 3 基、携帯局 5 基を増設し、消防署と各分署へ配置する。
11 月	消防署へ消防救急指令装置 (NEC、FD201 型) を設置し、運用を開始する。
昭和 49 年 1 月	池田分署へ 6 名増員し、分署署員数 1 1 名となり隔日勤務体制をとる。
3 月	消防職員 2 名土庄町へ、1 名内海町へ転出し、職員総数 5 6 名となる。
4 月	第二代消防署長に役重正則氏が昇任される。消防職員 6 名採用、職員総数 6 2 名となる。 内海分署へ救急車 (トヨタハイエース 2 B 型) を配置するとともに 6 名を増員しポンプ車隊、救急車隊の 2 隊編成をとり分署署員数 1 9 名となる。池田分署へ 2 名増員し、分署署員数 1 3 名となる。
5 月	内海分署において、救急業務を開始する。
7 月	消防本部へ査察広報車 (トヨタカローラバン) を配置する。旧車は池田分署へ配置する。 7 月 6 日、台風 8 号による集中豪雨で内海町全域にわたり山津波が発生、橘地区を中心に死者 2 9 名、重軽傷者 4 2 名、家屋全半壊 1 2 8 戸を出す大惨事となる。 大雨警報、洪水注意報発令と同時に災害活動及び救出、救助活動にあたる。
8 月	内海分署、消防ポンプ車老朽のため、消防ポンプ車 (ニッサン F H 6 0 型) を購入配置する。
昭和 50 年 3 月	初代消防長清水勝氏及び職員 1 名退職し、職員総数 6 0 名となる。 無線移動局 1 基、携帯局 5 基を増設する。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 2 名となる。
6 月	第二代消防長に内海町役場課長であった坂本傳氏が任命され、職員総数 6 3 名となる。
7 月	池田分署へ消防ポンプ車 (ニッサン F H 6 0 型) を購入配置する。旧車は内海分署へ移管する。
9 月	無線移動局 2 基、携帯局 1 基を増設する。小豆島防火協会が設立される。
11 月	消防本部の事務機構を改革し、総務、予防、警防の 3 課制をとる。
昭和 51 年 3 月	消防職員 2 名退職し、職員総数 6 1 名となる。
4 月	消防職員 3 名採用、職員総数 6 4 名となる。

9 月

防災工作車（トヨタハイエースWキャブ）を 2 台購入、内海分署、池田分署へ配置し、旧車は廃車する。
台風 1 7 号により、9 月 8 日から 9 月 1 3 日までに小豆島全域にわたり、わずか 6 日間で年間降雨量を超える 1, 4 0 0 ミリ（1 1 日～1 2 日で 8 0 0 ミリ）という記録的な豪雨となり、瞬時にして 3 9 名もの尊い生命を奪うという大惨事となった。
史上空前ともいわれる集中豪雨による大雨洪水警報発令と同時に全署員を動員し、警戒、防ぎよ、資材の運搬等にあたる。しかし、9 月 1 2 日になり島内随所で被害が続出したため、消防職団員一致団結し、避難誘導、行方不明者の捜索、負傷者、遺体の搬送、給水作業等に延々 1 2 日間連続出動する。
延出動職員数 7 3 9 名 延出動車両台数 7 5 台

被害の概要
死 者 39 名 重軽傷者 81 名 被災世帯 2,665 世帯
全壊家屋 209 戸 半壊家屋 268 戸 床上浸水 2,149 戸
床下浸水 2,942 戸

11 月

消防職員 1 名退職、職員総数 6 3 名となる。無線移動局 1 基、携帯局 3 基を増設する。

昭和 52 年 1 月

臨時事務職員 1 名採用。

3 月

無線携帯局 3 基を増設する。

4 月

消防職員 1 名池田町へ、職員総数 6 2 名となる。

6 月

第二代消防長坂本傳氏内海町へ。消防長事務取扱に内海町長川北四十二氏が任命され、職員総数 6 1 名となる。

昭和 53 年 3 月

初代管理者、内海町長川北四十二氏退任。

4 月

第二代管理者に土庄町長山脇利一氏が就任、次長として土庄町役場主幹であった洲本勝氏が任命される。消防職員 4 名採用、職員総数 6 6 名となる。

5 月

土庄町大部琴塚に、無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7 月

異常渇水のため、全島において水不足となり、井戸、池等の水が減水、又水道断水、時間給水が続き、5 4 年 2 月中旬から全面給水となった。

8 月

異常渇水対策として、日勤者を隊へ編入し、初動態勢の強化を図る。（1 0 月中旬まで実施する。）内海分署へ 2 名増員し、分署署員数 2 1 名となる。

9 月

日本消防協会より、救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置する。

昭和 54 年 3 月

内海町福田に無線の不感地区解消のため無線中継局を新設する。

7 月

小型動力ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、内海分署へ配置する。

10 月

油火災用ユニット式ポンププロポーショナー 1 式を 2 基購入し、本署と内海分署へ配置する。

11 月

小豆地区少年婦人防火委員会が設立される。

12月	土庄町内に原因不明の林野火災が続いたため、土庄町前島及び四海地区のパトロールを開始する。
昭和 55 年 3 月	消防職員 1 名、臨時事務職員 1 名退職し、職員総数 6 5 名となる。
4 月	第四代消防長に消防次長であった洲本勝氏が昇任。消防職員 3 名採用、職員総数 6 8 名となる。
6 月	小型動力ポンプ（ラビット可搬式）2 台を購入し、本署と池田分署へ配置。
8 月	消防他 3 つの一部事務組合を統合して小豆地区広域行政事務組合が新たに発足、これに伴い小豆地区消防組合は解散。組合管理者には、内海町長川北四十二氏が就任。事務所を小豆島老人ホームに置く。小豆地区消防本部と改称し、事務職員 1 名小豆地区広域行政事務組合へ。職員総数 6 7 名となる。
10 月	油火災用ユニット式ポンププロポーション 1 式を購入し池田分署へ配置。
11 月	油火災用特殊防火衣を 2 着購入し、本署へ配置する。 日本自動車工業会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧救急 2 号車は本署へ配置し予備車とする。
昭和 56 年 4 月	第二代消防署長、役重正則氏退職。消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
5 月	第三代消防署長に副署長であった谷元哲彦氏昇任。
9 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、本署へ配置する。
昭和 57 年 3 月	消防ポンプ車（いすゞ C D—I）1 台を購入し、本署へ配置する。 旧消防ポンプ 1 号車は林野工作車に改造して本署へ配置する。 日本損害保険協会より、救急車（日産キャラバン B—2）の寄贈を受け本署へ配置する。救急 3 号車は内海分署へ配置し救急予備車とする。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
5 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、内海分署へ配置する。
6 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置する。
10 月	消防職員 1 名小豆島老人ホームへ、職員総数 6 8 名となる。
昭和 58 年 3 月	第二代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。
4 月	第三代管理者に池田町長佐々木武雄氏就任。
8 月	日本消防協会より、救助資器材搬送車（日産アトラス）の寄贈を受け本署へ配置する。
昭和 59 年 3 月	第四代消防長、洲本勝氏土庄町へ。 消防署に設置の救急指令装置（D-201E）更新する。 消防職員一名退職、職員総数 6 6 名となる。
4 月	第三代管理者、池田町長佐々木武雄氏退任。第四代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。第五代消防長に、消防次長であった谷元哲彦氏が昇任、消防職員 1 名採用、職員総数 6 7 名となる。
8 月	救助用器材（エアツールセット）1 式を購入し、池田分署へ配置する。
11 月	第 8 回婦人防火全国大会に於いて、日本防火協会より防火広報車（日産キャラバン）の寄贈を受ける。

昭和 60 年 3 月	第四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第五代管理者に内海町長川西寿一氏就任。				
7 月	小型ポンプ（ラビット可搬式）を購入し、本署へ配置する。				
9 月	日本損害保険協会より消防ポンプ車（日産サファリ A－I）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。旧車は内海町へ移管する。				
昭和 61 年 3 月	内海分署無線基地局老朽のため更新する。				
	第五代消防長兼消防署長であった谷元哲彦氏退職。職員総数 6 6 名となる。				
4 月	第六代消防長事務取扱に池田町長八木壮一郎氏が任命され、次長として池田町役場主幹であった大谷隆生氏が任命される。第四代消防署長に副署長であった中黒輝雄氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 6 8 名となる。				
8 月	8 月 2 8 日、香川県下に強風波浪注意報発令中、土庄町豊島地区において交通事故（車両衝突）が発生、車両が炎上し強風にあおられて林野に延焼し、火面は急速に拡大する。土庄町長、消防長の陣頭指揮により隣接消防団、自衛隊等の応援を求め消防職団員一致協力し、9 月 4 日 1 7 時 1 2 8 h a を焼失し、鎮火する。				
	被害状況	焼損面積	1 2 8 ha	損害額	7, 5 5 0 万円
		死 者	1 名	負傷者	7 名
	出 動 人 員（延）		出動車両等（延）		
	小豆地区消防本部	275 名	消 防 ポ ン プ 自 動 車	77 台	
	土 庄 町 消 防 団	1, 772 名	小型動力ポンプ付積載車	72 台	
	池田町消防団（応援）	228 名	そ の 他 の 車 両	61 台	
	内海町消防団（応援）	294 名	偵 察 用 ヘ リ コ プ タ ー	3 機	
	高松市消防局（応援）	213 名	空中消火用ヘリコプター	8 機	
	神戸市消防局（応援）	5 名			
	陸上自衛隊（応援）	112 名			
	合 計	2, 899 名			
10 月	異常渇水のため、全島において水不足となり水道が時間給水のため住民への火災予防啓発と出動体制の強化を図る。（6 2 年 2 月まで）				
12 月	香川県消防相互応援協定締結 （香川県下 5 市、3 8 町、6 消防組合）				
昭和 62 年 2 月	消防ポンプ自動車（三菱 C D－I）を購入し、池田分署へ配置する。				
3 月	第五代管理者、内海町長川西寿一氏退任。				
4 月	第六代管理者に土庄町長山脇利一氏就任。				
5 月	消防本部へ河川情報システムを設置し、運用を開始する。				
6 月	査察広報車（日産ブルーバード）を購入、本署へ配置する。				
昭和 63 年 3 月	第六代消防長事務取扱者、池田町長八木壮一郎氏退任。				
4 月	第七代消防長に消防次長であった大谷隆生氏が昇任。消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。				

8 月	日本消防協会より防災工作車（トヨタハイエース）の寄贈を受け本署へ配置する。
11 月	消防本部へ管轄区域内の 1 1 9 番を統合し、運用を開始する。
12 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ｉ）を購入し、本署へ配置する。
平成元年 3 月	第六代管理者、土庄町長山脇利一氏退任。消防職員の高齢化対策として 2 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 7 名となる。
4 月	第七代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。消防職員 3 名採用、職員総数 7 0 名となる。
5 月	消防職員 1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向、職員総数 6 9 名となる。
9 月	防災工作車を 2 台購入、内海分署（トヨタトヨエースＷキャブ）、池田分署（トヨタダイナＷキャブ）へそれぞれ配置する。
10 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
平成 2 年 2 月	香川県共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタハイエース 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置し、旧車は廃車にする。
3 月	消防本部の庁舎に非常電源装置を設置する。 消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、1 名退職し、職員総数 6 8 名となる。
6 月	救助用機材（リフトバック）1 式を購入し、本署へ配置する。
12 月	指揮車（トヨタハイエースバン）を購入し、本署へ配置する。
平成 3 年 2 月	本署の林野工作車（4 9 年式日産 F H 6 0 型）を廃車にする。
3 月	第七代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 7 名となる。
4 月	第八代管理者に内海町長川西寿一氏就任。消防職員 3 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
8 月	高圧ポンプ付消防ポンプ自動車（三菱ＣＤ－Ｉ）を購入し、内海分署へ配置する。
平成 4 年 3 月	日本自動車工業会より救急車（日産キャラバン 2 B 型）の寄贈を受け、本署へ配置し、1 号救急車は内海分署へ移管する。消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 0 名となる。
平成 5 年 3 月	第八代管理者、内海町長川西寿一氏退任。第七代消防長、大谷隆生氏池田町へ。消防職員の高齢化対策として 1 名退職し、関係町で採用され、職員総数 6 8 名となる。
4 月	第九代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。第八代消防長に消防署長であった中黒輝雄氏が昇任。第五代消防署長に総務課長であった前田忠氏が昇任。 消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 6 9 名となる。
10 月	日本消防協会より救急車（いすゞファースト 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ

	配置する。																																																				
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（三菱キャンター）を購入し、池田分署へ配置する。																																																				
平成 6 年 1 月	香川県防災ヘリコプター派遣職員に関する協定締結（香川県） 香川県防災航空隊へ職員 1 名派遣。																																																				
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災ヘリコプター応援協定締結 （香川県、県下 5 市、3 8 町、6 消防組合）																																																				
5 月	エアーコンプレッサーを購入し、本署へ配置する。																																																				
11 月	はしご付消防自動車（森田式 M L E H 5 - 3 5 R 型）を購入し本署へ配置する。																																																				
平成 7 年 3 月	第九代管理者、土庄町長塩本淳平氏退任。																																																				
4 月	第十代管理者に池田町長八木壮一郎氏就任。																																																				
6 月	第八代消防長、中黒輝雄氏逝去。職員総数 7 0 名となる。																																																				
7 月	第九代消防長兼署長に次長兼署長であった前田忠氏が昇任。																																																				
平成 8 年 3 月	基地局に県内共通波を設置する。																																																				
4 月	第九代消防長兼署長であった前田忠氏の署長兼務を解く。第六代消防署長に内海分署長であった木村敏夫氏が昇任。消防職員 2 名採用、1 名管理者部局（小豆島老人ホーム）から小豆地区消防本部に出向、2 名管理者部局（小豆島老人ホーム）へ出向し、職員総数 7 1 名となる。 4 月 9 日、香川県に乾燥注意報が発令中、土庄町では異常渇水のため、1 6 時間断水と厳しい水事情のなか、土庄町湊崎妹尾乙 2 5 7 番地より出火した山林火災は、急傾斜のため火面は急速に拡大し、管轄消防職員・団員はもとより隣接消防団、香川・大阪・広島・島根・京都の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援を求め 4 月 1 2 日 9 時、4 7 h a を焼失し、鎮火する。																																																				
	<table><tr><td colspan="2">出動人員（延）</td><td colspan="2">出動車両等（延）</td></tr><tr><td>小豆地区消防本部</td><td>196 名</td><td>消 防 ポ ン プ 自 動 車</td><td>49 台</td></tr><tr><td>土 庄 町 消 防 団</td><td>1,172 名</td><td>小型動力ポンプ付積載車</td><td>109 台</td></tr><tr><td>池 田 町 消 防 団</td><td>300 名</td><td>自 衛 隊 車 両</td><td>33 台</td></tr><tr><td>内 海 町 消 防 団</td><td>350 名</td><td>そ の 他 の 車 両</td><td>73 台</td></tr><tr><td>高 松 市 消 防 局</td><td>9 名</td><td>消 防 防 災 ヘ リ</td><td>7 機</td></tr><tr><td>香川県防災航空隊</td><td>21 名</td><td>自 衛 隊 ヘ リ</td><td>9 機</td></tr><tr><td>大阪市消防局航空隊</td><td>5 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>広島市消防航空隊</td><td>6 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>島根県防災航空隊</td><td>16 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>京都市消防航空隊</td><td>6 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>陸 上 自 衛 隊</td><td>161 名</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,242 名</td><td></td><td></td></tr></table>	出動人員（延）		出動車両等（延）		小豆地区消防本部	196 名	消 防 ポ ン プ 自 動 車	49 台	土 庄 町 消 防 団	1,172 名	小型動力ポンプ付積載車	109 台	池 田 町 消 防 団	300 名	自 衛 隊 車 両	33 台	内 海 町 消 防 団	350 名	そ の 他 の 車 両	73 台	高 松 市 消 防 局	9 名	消 防 防 災 ヘ リ	7 機	香川県防災航空隊	21 名	自 衛 隊 ヘ リ	9 機	大阪市消防局航空隊	5 名			広島市消防航空隊	6 名			島根県防災航空隊	16 名			京都市消防航空隊	6 名			陸 上 自 衛 隊	161 名			合 計	2,242 名		
出動人員（延）		出動車両等（延）																																																			
小豆地区消防本部	196 名	消 防 ポ ン プ 自 動 車	49 台																																																		
土 庄 町 消 防 団	1,172 名	小型動力ポンプ付積載車	109 台																																																		
池 田 町 消 防 団	300 名	自 衛 隊 車 両	33 台																																																		
内 海 町 消 防 団	350 名	そ の 他 の 車 両	73 台																																																		
高 松 市 消 防 局	9 名	消 防 防 災 ヘ リ	7 機																																																		
香川県防災航空隊	21 名	自 衛 隊 ヘ リ	9 機																																																		
大阪市消防局航空隊	5 名																																																				
広島市消防航空隊	6 名																																																				
島根県防災航空隊	16 名																																																				
京都市消防航空隊	6 名																																																				
陸 上 自 衛 隊	161 名																																																				
合 計	2,242 名																																																				
平成 9 年 3 月	第十代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 日本消防協会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																																																				

4 月	第十一代管理者に内海町長川西寿一氏就任。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。			
5 月	第十一代管理者、内海町長川西寿一氏退任。 第十二代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。			
10 月	高規格救急車（トヨタグランビア）を購入し、本署へ配置する。			
平成 10 年 10 月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車（三菱ファイター）の寄贈を受け本署へ配置する。			
平成 11 年 2 月	携帯電話等からの 1 1 9 番通報転送等に関する協定締結。 （高松市消防局、大川広域消防本部、讃岐広域消防本部） 携帯電話 1 1 9 番転送システムを設置する。 2 月 1 4 日、土庄町湊崎字東丸山甲 1 6 6 5 番地 3 より出火した山林火災は、急斜面の地形により延焼拡大し 3 日間燃え続け、消防職員・3 町消防団の消火活動に加え、香川・高知・愛媛・兵庫・広島・鳥取の各消防防災ヘリ、自衛隊ヘリの応援により、1 3 h a を焼失し、1 6 日 8 時 4 0 分鎮火する。			
	出動人員（延）		出動車両（延）	
	小豆地区消防本部	145 名	消 防 ポ ン プ 自 動 車	35 台
	土 庄 町 消 防 団	717 名	小型動力ポンプ付積載車	87 台
	池 田 町 消 防 団	110 名	自 衛 隊 車 両	6 台
	内 海 町 消 防 団	100 名	そ の 他 の 車 両	25 台
	香川県防災航空隊	9 名	消 防 防 災 ヘ リ	8 機
	高知県消防防災航空隊	16 名	自 衛 隊 ヘ リ	8 機
	愛媛県消防防災航空隊	13 名		
	兵庫県消防防災航空隊	14 名		
	広島県防災航空隊	6 名		
	鳥取県消防防災航空隊	7 名		
	陸 上 自 衛 隊	121 名		
	土 庄 警 察 署	55 名		
	土 庄 町 職 員	24 名		
	合 計	1,337 名		
3 月	第十二代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。			
4 月	第十三代管理者に土庄町長塩本淳平氏就任。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。			
平成 12 年 3 月	消防本部 2 階へ通信指令室を設け、消防緊急通信指令システムを更新整備する。			
10 月	小豆島防火協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。			
平成 13 年 3 月	第十三代管理者、塩本淳平氏退任。 消防職員 1 名退職。職員総数 7 0 名となる。			
平成 13 年 4 月	第十四代管理者に八木壮一郎氏就任。 消防職員 1 名採用。職員総数 7 1 名となる。			
平成 14 年 1 月	消防職員 1 名退職。職員総数 7 0 名となる。			

3 月	第六代消防署長、木村敏夫氏退職。職員総数 6 9 名となる。																								
4 月	第七代消防署長に内海分署長であった森三郎氏が昇任。 消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。																								
平成 15 年 3 月	第十四代管理者、池田町長八木壮一郎氏退任。 第九代消防長、前田忠氏退職。職員総数 7 0 名となる。 日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け、内海分署へ配置する。																								
4 月	第十五代管理者に内海町長坂下一朗氏就任。 第十代消防長事務取扱に土庄町長三木佑二郎氏任命。 消防職員 3 名採用、職員総数 7 3 名となる。																								
10 月	消防次長、高橋忠博氏逝去。職員総数 7 2 名となる。																								
12 月	消防署長であった森三郎氏が消防次長に昇任。 第八代消防署長に内海分署長であった佐渡達夫氏が昇任。																								
平成 16 年 3 月	消防次長、森三郎氏退職。職員総数 7 1 名となる。 救助工作車（日野レンジャープロ）を購入し、本署へ配置する。																								
4 月	消防署長であった佐渡達夫氏が消防次長に昇任。 第九代消防署長に浜岡成俊氏が昇任。																								
8 月	台風 1 6 号による高潮被害。 <table><tr><td>内海町</td><td>床上浸水</td><td>176 戸</td><td>床下浸水</td><td>350 戸</td></tr><tr><td>土庄町</td><td>床上浸水</td><td>523 戸</td><td>床下浸水</td><td>523 戸</td></tr><tr><td>池田町</td><td>床上浸水</td><td>49 戸</td><td>床下浸水</td><td>160 戸</td></tr><tr><td>合 計</td><td>床上浸水</td><td>748 戸</td><td>床下浸水</td><td>1,033 戸</td></tr></table>					内海町	床上浸水	176 戸	床下浸水	350 戸	土庄町	床上浸水	523 戸	床下浸水	523 戸	池田町	床上浸水	49 戸	床下浸水	160 戸	合 計	床上浸水	748 戸	床下浸水	1,033 戸
内海町	床上浸水	176 戸	床下浸水	350 戸																					
土庄町	床上浸水	523 戸	床下浸水	523 戸																					
池田町	床上浸水	49 戸	床下浸水	160 戸																					
合 計	床上浸水	748 戸	床下浸水	1,033 戸																					
平成 17 年 3 月	第十五代管理者、内海町長坂下一朗氏退任。 第十代消防長事務取扱、土庄町長三木佑二郎氏退任。 消防職員 1 名退職、職員総数 7 0 名となる。 消防ポンプ自動車（日野 C D - I）を購入し、内海分署へ配置する。																								
4 月	第十六代管理者に土庄町長三木佑二郎氏就任。 第十一代消防長に消防次長であった佐渡達夫氏が昇任。 消防次長に消防署長であった浜岡成俊氏が昇任。 第十代消防署長に総務課長であった中川博行氏が昇任。 消防職員 1 名採用、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。																								
平成 18 年 1 月	第十六代管理者、土庄町長三木佑二郎氏退任。第十七代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。																								
3 月	内海町、池田町（2 町）が合併し、小豆島町となる。 消防職員 5 名退職（勸奨）職員総数 6 6 名となる。 消防ポンプ自動車（三菱 C D - I）を購入し、池田分署へ配置する。																								
4 月	消防職員 5 名採用、職員総数 7 1 名となる。																								

8 月	消防職員 1 名退職、職員総数 7 0 名となる。
平成 19 年 3 月	第十七代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。
	消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 9 名となる。
4 月	第十八代管理者に小豆島町長坂下一朗氏就任。
	消防職員 2 名採用、職員総数 7 1 名となる。
平成 20 年 1 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防長、佐渡達夫氏・消防署長、中川博行氏他消防職員 3 名退職（内 3 名勸奨）職員総数 6 6 名となる。
4 月	第十二代消防長に消防次長であった浜岡成俊氏が昇任。
	消防次長に総務課長であった岡田正志氏が昇任。
	第十一代消防署長に内海分署長であった森川誠三氏が昇任。
	消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 21 年 3 月	第十八代管理者、小豆島町長坂下一朗氏退任。
	消防長、浜岡成俊氏・消防次長、岡田正志氏・消防署長、森川誠三氏 他消防員 4 名退職（内 4 名勸奨）職員総数 6 2 名となる。
4 月	第十九代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。
	第十三代消防長事務取扱に小豆島町長坂下一朗氏任命。
	消防次長に通信指令室長であった今口眞悟氏昇任。
	第十二代消防署長に総務課長であった真砂清氏が昇任。
	消防職員 7 名採用、職員総数 6 9 名となる。
12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車（トヨタハイメディック）の寄贈を受け内海分署へ配置する。
平成 22 年 3 月	消防職員 2 名退職（勸奨）職員総数 6 7 名となる。
4 月	消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	第十三代消防長事務取扱 小豆島町長坂下一朗氏退任。
	第十四代消防長事務取扱に土庄町長岡田好平氏任命。
平成 23 年 3 月	第十九代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。
	第十四代消防長事務取扱 土庄町長岡田好平氏退任。
	消防次長、今口眞悟氏 他消防職員 2 名退職（内 2 名勸奨）職員総数 6 6 名となる。
4 月	第二十代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任。
	第十五代消防長に消防署長であった真砂清氏が昇任。
	消防次長に総務課長であった前田彰夫氏昇任。
	第十三代消防署長に消防副署長であった浜脇繁美氏が昇任。
	消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
	香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
平成 24 年 2 月	消防ポンプ自動車（日野 CD-I）を購入し、本署へ配置する。
3 月	消防署長、浜脇繁美氏 他消防職員 2 名退職。職員総数 6 6 名となる。

4 月	第十四代消防署長に総務課長であった石塚昭義氏が昇任。 消防職員 3 名採用、職員総数 6 9 名となる。
12 月	指揮車(トヨタヴォクシー)を購入し本部へ配置する。
平成 25 年 3 月	第二十代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。 第十五代消防長、真砂清氏・消防次長、前田彰夫氏 他消防職員 4 名退職（内 3 名勸奨）職員総数 6 3 名となる。
4 月	第二十一代管理者に土庄町長岡田好平氏就任。 第十六代消防長に消防署長であった石塚昭義氏が昇任。 消防次長に情報指令課主幹であった上濱一弥氏が昇任。 第十五代消防署長に総務課長であった須佐美高広氏が昇任。 消防職員 6 名採用、職員総数 6 9 名となる。
平成 26 年 1 月	第二十一代管理者、土庄町長岡田好平氏退任。 第二十二代管理者に土庄町長三枝邦彦氏就任。
2 月	消防ポンプ自動車（日野 C D - 1）を購入し、内海分署へ配置する。
3 月	消防職員 1 名退職（勸奨）職員総数 6 8 名となる。
4 月	消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
8 月	消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備工事に着手する。
9 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署の建設工事に着手する。
12 月	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、本署へ配置する。
平成 27 年 3 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 7 名となる。 第二十二代管理者、土庄町長三枝邦彦氏退任。
4 月	第二十三代管理者に小豆島町長塩田幸雄氏就任。 消防職員 2 名採用、職員総数 6 9 名となる。
10 月	小豆島防火安全協会より防火広報車（軽四輪）の寄贈を受け、本署へ配置する。
平成 28 年 3 月	小豆地区消防本部兼小豆島西消防署、小豆島東消防署落成する。 消防救急デジタル無線及び消防指令センター落成する。 池田分署の業務を終了する。 消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
4 月	組織改編に伴い 2 署体制へ移行、業務を開始する。 消防次長兼初代西消防署長に消防署長であった須佐美高広氏が昇任。 初代東消防署長に内海分署長であった木下昌樹氏が就任。 消防職員 1 名採用、職員総数 6 9 名となる。
7 月	消防職員 1 名退職、職員総数 6 8 名となる。
8 月	査察広報車（軽四輪）を購入し、東署へ配置する。
12 月	池田港飛行場外離着陸場の整備工事に着手する。
平成 29 年 3 月	池田港飛行場外離着陸場竣工する。 第二十三代管理者、小豆島町長塩田幸雄氏退任。 第十六代消防長、石塚昭義氏退職。職員総数 6 7 名となる。

4 月	第二十四代管理者に土庄町長三枝邦彦氏就任。 第十七代消防長に消防次長であった上濱一弥氏が昇任。 消防職員 3 名採用、再任用 1 名、職員総数 7 1 名となる。 香川県防災航空隊へ職員 1 名交替派遣。
10 月	消防次長に消防防災課長兼西消防副署長であった八木勝則氏が昇任。
12 月	小型動力ポンプ付水槽車（日野デュトロ）を購入し、西署へ配置する。
平成 30 年 2 月	消防職員 2 名退職、職員総数 6 9 名となる。
3 月	第十七代消防長、上濱一弥氏・再任用 1 名退職、職員総数 6 7 名となる。
4 月	第十八代消防長に消防次長兼西消防署長であった須佐美高広氏が昇任。 消防次長兼第二代西消防署長に総務課長であった青地薫氏が昇任。 消防職員 1 名採用、職員総数 6 8 名となる。

5. 主たる総務行事（平成29年）

1月20日	臨時香川県消防学校教育推進協議会	(高松市)
2月7日～8日	香川県消防協会消防団長等研修	(高知市)
2月10日	小豆地区広域行政事務組合議員視察研修	(高松市)
2月17日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
3月15日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
4月7日	消防職員第64期初任科入校式	(高松市)
4月14日	第1回香川県消防長会議	(丸亀市)
4月16日	小豆地区消防連合会定期総会及び表彰式	
4月27日	全国消防長会四国支部意見発表会及び総会	(徳島市)
5月11日	第95回全国消防長会技術委員会	(広島市)
5月24日	第69回全国消防長会総会及び第40回全国消防長会消防職員意見発表会(名古屋市)	
	消防功労者定例表彰式	(高松市)
5月26日	小豆地区広域行政事務組合議会臨時会	
5月30日	香川県消防長会事務担当者会議	(高松市)
6月7日	香川県消防協会定時評議員会	(高松市)
6月9日	小豆安全運転管理者協議会総会	
6月22日	安全運転管理者講習	
7月11日	第1回香川県消防学校教育推進協議会	(高松市)
7月13日	香川県消防長会主管課長会議	(高松市)
7月21日	第46回消防救助技術四国地区指導会	(徳島市)
8月23日	第46回全国消防救助技術大会	(仙台市)
8月24日	小豆地区消防本部消防職員委員会	
9月16日	初任教育生訓練発表会	(高松市)
9月29日	消防職員第64期初任科卒業式	(高松市)
	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
10月6日	県下消防署長会議	(観音寺市)
10月31日	人物試験評価者講習	(高松市)
	第2回香川県消防学校教育推進協議会	(高松市)
11月2日	第2回香川県消防長会議及び香川県消防職員意見発表会	(坂出市)
11月6日	健康管理者研修会	(高松市)
11月14日	臨時香川県消防長会議	(高松市)
11月21日	全国消防長会四国支部消防長研修会	(高松市)
11月29日	消防職員惨事ストレス研修会	(高松市)
12月7日	小豆地区広域行政事務組合議会定例会	
	警察消防殉職者協力殉職者合同慰霊祭	(高松市)
12月18日	地域防災力向上シンポジウム in 香川2017	(高松市)
12月27日	女性消防吏員の活躍推進及びハラスメント等への対応策に係る説明会	(高松市)

6. 歴代消防長

平成 30 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7 . 4 . 1 至 昭 5 0 . 4 . 1	3 年	0 月
二 代	坂 本 傳	自 昭 5 0 . 6 . 1 至 昭 5 2 . 5 . 3 1	2 年	0 月
三 代	(消防長事務取扱) 川 北 四 十 二	自 昭 5 2 . 6 . 1 至 昭 5 3 . 3 . 3 1		1 0 月
四 代	洲 本 勝	自 昭 5 5 . 4 . 1 至 昭 5 9 . 3 . 3 1	4 年	0 月
五 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 9 . 4 . 1 至 昭 6 1 . 3 . 3 1	2 年	0 月
六 代	(消防長事務取扱) 八 木 壮 一 郎	自 昭 6 1 . 4 . 1 至 昭 6 3 . 3 . 3 1	2 年	0 月
七 代	大 谷 隆 生	自 昭 6 3 . 4 . 1 至 平 5 . 3 . 3 1	5 年	0 月
八 代	中 黒 輝 雄	自 平 5 . 4 . 1 至 平 7 . 6 . 6	2 年	2 月
九 代	前 田 忠	自 平 7 . 7 . 1 至 平 1 5 . 3 . 3 1	7 年	9 月
十 代	(消防長事務取扱) 三 木 佑 二 郎	自 平 1 5 . 4 . 1 至 平 1 7 . 3 . 3 1	2 年	0 月
十 一 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 7 . 4 . 1 至 平 2 0 . 3 . 3 1	3 年	0 月
十 二 代	浜 岡 成 俊	自 平 2 0 . 4 . 1 至 平 2 1 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 三 代	(消防長事務取扱) 坂 下 一 朗	自 平 2 1 . 4 . 1 至 平 2 2 . 4 . 2 2	1 年	1 月
十 四 代	(消防長事務取扱) 岡 田 好 平	自 平 2 2 . 4 . 2 3 至 平 2 3 . 3 . 3 1		1 1 月
十 五 代	真 砂 清	自 平 2 3 . 4 . 1 至 平 2 5 . 3 . 3 1	2 年	0 月
十 六 代	石 塚 昭 義	自 平 2 5 . 4 . 1 至 平 2 9 . 3 . 3 1	4 年	0 月
十 七 代	上 濱 一 弥	自 平 2 9 . 4 . 1 至 平 3 0 . 3 . 3 1	1 年	0 月
十 八 代	須 佐 美 高 広	自 平 3 0 . 4 . 1 至 現 在		

7. 歴代消防署長

平成 30 年 4 月 1 日現在

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	清 水 勝	自 昭 4 7. 4. 1 至 昭 4 9. 3. 3 1	2 年	0 月
二 代	役 重 正 則	自 昭 4 9. 4. 1 至 昭 5 6. 4. 1 4	7 年	1 月
三 代	谷 元 哲 彦	自 昭 5 6. 5. 1 至 昭 6 1. 3. 3 1	4 年	1 1 月
四 代	中 黒 輝 雄	自 昭 6 1. 4. 1 至 平 5. 3. 3 1	7 年	0 月
五 代	前 田 忠	自 平 5. 4. 1 至 平 8. 3. 3 1	3 年	0 月
六 代	木 村 敏 夫	自 平 8. 4. 1 至 平 1 4. 3. 1	6 年	0 月
七 代	森 三 郎	自 平 1 4. 4. 1 至 平 1 5. 1 1. 3 0	1 年	8 月
八 代	佐 渡 達 夫	自 平 1 5. 1 2. 1 至 平 1 6. 3. 3 1		4 月
九 代	浜 岡 成 俊	自 平 1 6. 4. 1 至 平 1 7. 3. 3 1	1 年	0 月
十 代	中 川 博 行	自 平 1 7. 4. 1 至 平 2 0. 3. 3 1	3 年	0 月
十 一 代	森 川 誠 三	自 平 2 0. 4. 1 至 平 2 1. 3. 3 1	1 年	0 月
十 二 代	真 砂 清	自 平 2 1. 4. 1 至 平 2 3. 3. 3 1	2 年	0 月
十 三 代	浜 脇 繁 美	自 平 2 3. 4. 1 至 平 2 4. 3. 3 1	1 年	0 月
十 四 代	石 塚 昭 義	自 平 2 4. 4. 1 至 平 2 5. 3. 3 1	1 年	0 月
十 五 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 5. 4. 1 至 平 2 8. 3. 3 1	3 年	0 月

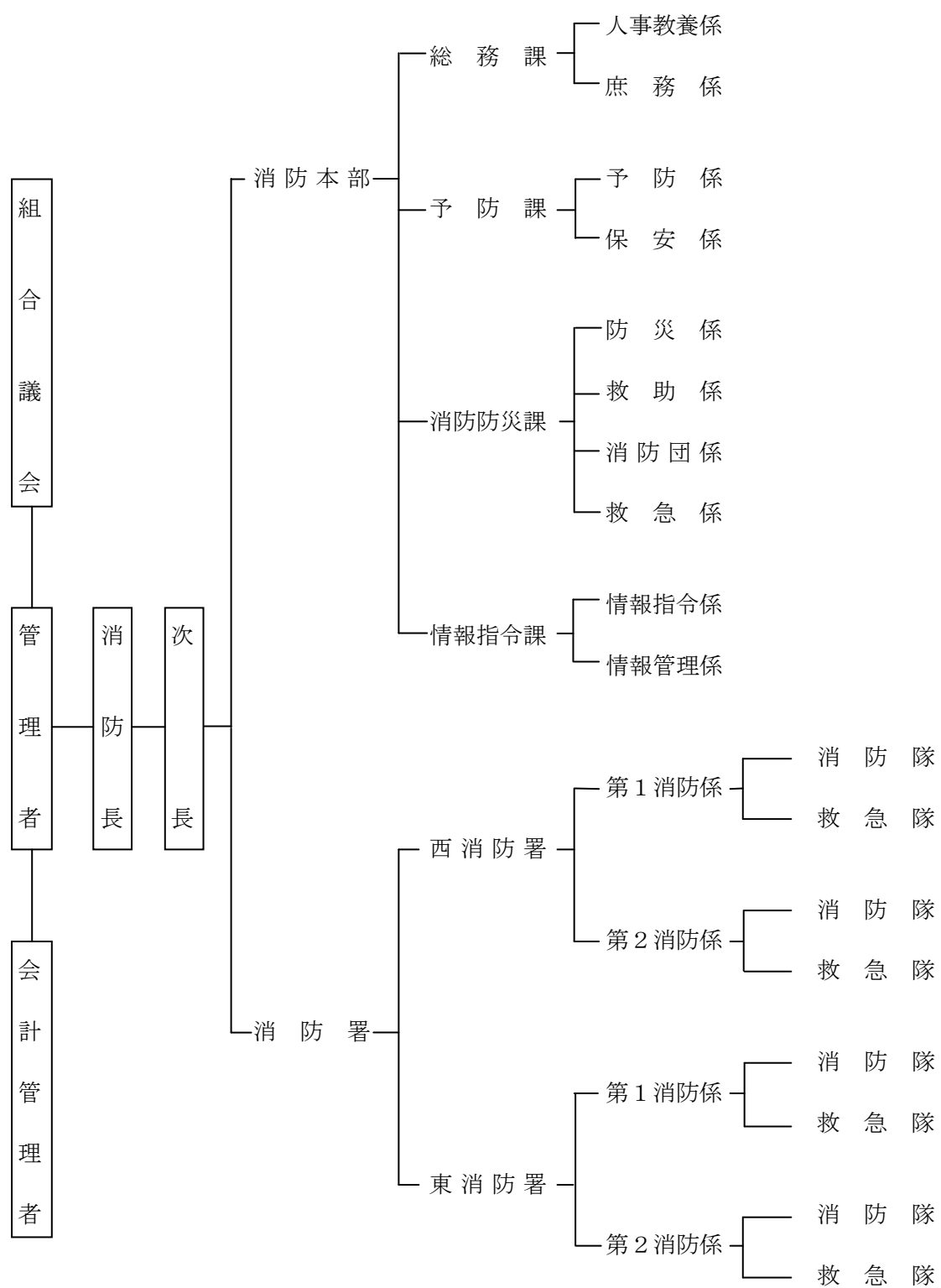
歴代西消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	須 佐 美 高 広	自 平 2 8. 4. 1 至 平 3 0. 3. 3 1	2 年	0 月
二 代	青 地 薫	自 平 3 0. 4. 1 至 現 在		

歴代東消防署長

年 代	氏 名	在 職 期 間	勤 務 年 数	
初 代	木 下 昌 樹	自 平 2 8. 4. 1 至 現 在		

8. 消防の組織・機構



9. 事 務 分 掌

総 務 課

人事教養係

- (1) 職員の任用、服務及び賞罰に関する事項
- (2) 職員の給与に関する事項
- (3) 職員の公務災害補償に関する事項
- (4) 職員の研修及び能率増進に関する事項
- (5) 行政不服審査及び訴訟に関する事項
- (6) 消防長の秘書及び儀式用務に関する事項
- (7) 消防協力者等の災害補償及び表彰に関する事項

庶 務 係

- (1) 公文書の収受及び発送に関する事項
- (2) 完結文書の整理保管に関する事項
- (3) 公印の保管に関する事項
- (4) 規程等の審査に関する事項
- (5) 消防年報に関する事項
- (6) 財産の管理に関する事項
- (7) 消防職員委員会に関する事項
- (8) 各課の総合調整に関する事項
- (9) 他課、係の所管に属さない事項

予 防 課

予 防 係

- (1) 火災予防の指導に関する事項
- (2) 建築確認等の同意に関する事項
- (3) 防火対象物の消防計画の作成及び訓練の指導に関する事項
- (4) 消防用設備等の設置に関する事項
- (5) 防火対象物の違反処理に関する事項
- (6) 火災の原因及び損害の調査・報告に関する事項
- (7) 火気使用設備等の指導に関する事項
- (8) 消防広報及び広聴に関する事項
- (9) 自主防火・防災組織の育成指導に関する事項
- (10) 防火管理者の育成指導に関する事項
- (11) 防火対象物定期点検報告制度に関する事項
- (12) 前各号のほか、予防業務に関する事項

保 安 係

- (1) 危険物製造所等の許可及び検査に関する事項
- (2) 危険物製造所等の指導取締りに関する事項
- (3) 液化石油ガス設備工事届等に関する事項
- (4) その他危険物関係の指導に関する事項

消 防 防 災 課

防 災 係

- (1) 防災計画に関する事項
- (2) 防災対策に関する事項
- (3) 防災演習に関する事項
- (4) 消防機材の配置及び管理に関する事項
- (5) 各町の地域防災計画に関する事項
- (6) 消防水利に関する事項
- (7) 災害報告に関する事項
- (8) 前各号のほか、防災業務に関する事項

救 助 係

- (1) 救助計画に関する事項
- (2) 前号のほか、救助業務に関する事項

消 防 団 係

- (1) 消防団計画に関する事項
- (2) 前号のほか、消防団業務に関する事項

救 急 係

- (1) 救急計画に関する事項
- (2) 救急運用に関する事項
- (3) 救急資機材の配置及び管理に関する事項
- (4) 救急、救助年報に関する事項
- (5) 前各号のほか、救急業務に関する事項

情 報 指 令 課

情報指令係

- (1) 通信指令に関する事項
- (2) 前号のほか、情報指令に関する事項

情報管理係

- (1) 個人情報の管理に関する事項
- (2) 前号のほか、情報管理に関する事項

10. 管内面積及び人口・世帯数

平成30年4月1日現在

区 分 町 別	面 積 (km ²)	人 口			世 帯 数 (世帯)
		男 (人)	女 (人)	計 (人)	
土 庄 町	74.37	6,634	7,466	14,100	6,751
小 豆 島 町	95.59	7,107	7,788	14,895	7,014
合 計	169.96	13,741	15,254	28,995	13,765

(住民基本台帳による)

1 1. 消防庁舎の現状

区 分 署所別	所 在 地	構 造	建築延面積	竣工年月日
消防本部 兼西消防署	香川県小豆郡土庄町 甲 557 番地 10	鉄筋コンクリート 4 階 建	2,482.3 m ²	H27. 12. 28
東消防署	香川県小豆郡小豆島町安田 甲 144 番地 90	鉄筋コンクリート 4 階 建	951.9 m ²	H27. 12. 28

1 2. 職員の勤務年数

平成 30 年 4 月 1 日現在

階 級 別 年 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
1 年 未 満						1	1
1 年 ～ 2 年未満						3	3
2 年 ～ 3 年未満						1	1
3 年 ～ 4 年未満						2	2
4 年 ～ 5 年未満						1	1
5 年 ～ 10 年未満					1 4	6	2 0
10 年 ～ 15 年未満				6	3		9
15 年 ～ 20 年未満				5			5
20 年 ～ 25 年未満			2	2			4
25 年 ～ 30 年未満		1	1 1				1 2
30 年 以 上	1	8	1				1 0
合 計	1	9	1 4	1 3	1 7	1 4	6 8
平 均	40.0	35.3	26.9	14.8	8.4	3.2	16.4

13. 職員の年齢

平成30年4月1日現在

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
18才～20才						1	1
21才～25才						9	9
26才～30才					12	4	16
31才～35才				7	5		12
36才～40才				5			5
41才～45才			6	1			7
46才～50才			8				8
51才～55才		6					6
56才～60才	1	3					4
合計	1	9	14	13	17	14	68
平均年齢	58.0	54.2	46.3	35.6	29.5	23.7	36.6

14. 職員の配置状況

平成30年4月1日現在

階級別 署所別	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部	1	7	8	7	10	6	39
西消防署		(3)	(8)	(7)	(10)	(5)	(33)
東消防署		2	6	6	6	8	28
県防災航空隊					1		1
合計	1	9	14	13	17	14	68

(※ () 内は兼務)

15. 消防力の現勢

平成30年4月1日現在

署所・人員

区 分	現 有 数
署 所 数	2
指 揮 隊 員	6
消 防 隊 員	36
救 急 隊 員	16
救 助 隊 員	0（兼務18）
通 信 要 員	5
予 防 要 員	19（兼務18）
庶務処理等の要員	4

車両

		現 有 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車		4
は し ご 自 動 車		1
救助工作車（省令第4条）		1
高 規 格 救 急 車		4
特 殊 車 等	指 揮 車	1
	査 察 広 報 車	2
	小型ポンプ付水槽車	1
	そ の 他 の 車 両	3

区 分	基 準 数	現 有 数	充 足 率
消 防 水 利	898	451	50.2

16. 消防職員・消防車等に対する人口及び世帯数の割合

平成30年4月1日現在

区 分	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	面 積 (k㎡)
消 防 職 員 1 人 当 り	426	202	2.50
消防ポンプ自動車1台当り	7,249	3,441	42.49
救 急 車 1 台 当 り	7,249	3,441	42.49
署 1 ケ 所 当 り	14,498	6,883	84.98

17. 消防予算

(1) 歳入

(単位：千円)

区 分	平成29年度予算額	平成30年度予算額
1. 分担金及び負担金	601,989	873,075
2. 使用料及び手数料	100	100
3. 国庫支出金	0	49,865
4. 県支出金	0	0
5. 財産収入	0	0
6. 寄付金	0	0
7. 繰越金	0	0
8. 諸収入	0	0
9. 組合債	14,000	0
合 計	616,089	923,040

(2) 歳出

(単位：千円)

区 分	平成29年度予算額	平成30年度予算額
1. 総務費	519,821	535,513
2. 予防費	1,033	1,137
3. 警防費	5,152	6,188
4. 救急費	5,598	5,595
5. 通信費	19,514	19,627
6. 施設費	35,845	225,374
7. 公債費	29,126	129,606
合 計	616,089	923,040

18. 平成30年度町別一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	土 庄 町	小豆島町	合 計
一 般 会 計 予 算 額	9,437,000	7,933,000	17,370,000
消 防 費 予 算 額			
計	453,385	527,204	980,589
常 備 消 防 費	384,779	488,296	873,075
非 常 備 消 防 費	38,097	35,504	73,601
消 防 施 設 費	0	1,967	1,967
水 防 費	869	1,434	2,303
災 害 対 策 費	29,640	3	29,643
一 般 会 計 と 消 防 費 の 比 (%)	4.8	6.6	5.6
住 民 1 人 当 り の 消 防 費 用 (円)	32,155	35,395	33,819
一 世 帯 当 た り の 消 防 費 用 (円)	67,158	75,165	71,238

19. 消防費基準財政需要額及び町負担金（予算額）

(単位：千円)

区 分	平成29年度 消防費基準財政需要額	平成30年度 町負担金
町 別		
土 庄 町	248,566	384,779
小 豆 島 町	316,621	488,296
合 計	565,187	873,075

20. 職員特殊技能資格取得状況

平成30年4月1日現在

種 別 \ 階 級 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自動車 運転 免許	大型	1	3	8	10	14	5	41
	中型（11t未満）					1		1
	中型（8t限定）		6	6	3	2	1	18
	準中型（7.5t未満）						2	2
	準中型（5t限定）						6	6
	普通							
クレーン・玉掛け・巻き上げ機 （クレーン・玉掛け）			(3)	4 (3)	6	2		12 (6)
消防用設備点検資格者 第1種・第2種				1				1
消防設備士 免			1	4	2	8	2	17
危険物取扱者 免			1	7	9	16	7	40
予防技術検定			1	5	2	6		14
第2級陸上特殊 無線技士			5	10	9	3		27
第3級陸上特殊 無線技士		1	1	1				3
第4級アマチュア 無線技士		1						1
小型船舶操縦士 2級免		1	5	8	2	6	1	23
救急救命士		1	3	5	5	1	4	19
応急手当当 指 導 員		1	7	13	12	8	6	47
石油機器技術管理士			1	1				2
第Ⅱ種酸素欠乏 危険作業主任者			2	8	9	10		29
潜水士			1	3	4	4		12
特定化学物質等 作業主任者		1		2				3

2 1. 職員教養状況調

平成 30 年 4 月 1 日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
消 防 大 学 校	上 級 幹 部 科		1					1
	幹 部 科	1	2					3
	警 防 科							
	予 防 科							
	救 急 科							
	救 助 科			1				1
香 川 県 消 防 学 校	初 任 教 育	1	9	1 4	1 3	1 7	1 4	6 8
	初 級 幹 部 科			4	1			5
	中 級 幹 部 科	1	2					3
	上 級 幹 部 科		2					2
	予 防 査 察 科		7	3	3	3		1 6
	危 険 物 科			3	1	1	1	6
	火 災 調 査 科	1	1	4	4	1		1 1
	特 殊 災 害 科		3	2	3			8
	警 防 科			5	3	2		1 0
	救 急 科		5	1 4	1 3	1 2	2	4 6
	救 助 科	1	2	7	9	1 0		2 9
そ の 他	救 急 救 命 士	1	3	5	5	1	4	1 9

2 2. 職員居住地調

平成 30 年 4 月 1 日現在

階 級 別 区 分		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
土 庄 町			3	6	9	1 2	5	3 5
小 豆 島 町		1	6	8	4	5	9	3 3
合 計		1	9	1 4	1 3	1 7	1 4	6 8

23. 職員任用退職状況調

平成30年4月1日現在

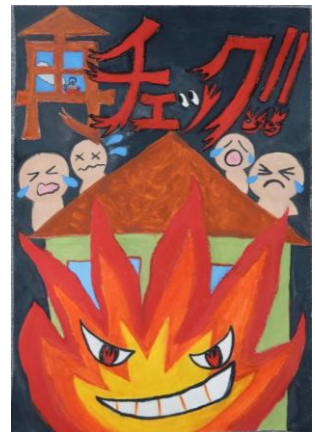
年 度 \ 区 分	新 任	退 職	転 入 出		職 員 総 数
			入	出	
平成 元 年	3	2			7 0
平成 2 年	2	2		1	6 9
平成 3 年	3	2		1	6 9
平成 4 年	2	1			7 0
平成 5 年	2	2		1	6 9
平成 6 年	2				7 1
平成 7 年					7 1
平成 8 年	2	1	1	2	7 1
平成 9 年					7 1
平成 1 0 年					7 1
平成 1 1 年					7 1
平成 1 2 年					7 1
平成 1 3 年	1	1			7 1
平成 1 4 年	2	2			7 1
平成 1 5 年	3	1			7 3
平成 1 6 年		2			7 1
平成 1 7 年	1	1			7 1
平成 1 8 年	5	5			7 1
平成 1 9 年	2	2			7 1
平成 2 0 年	3	5			6 9
平成 2 1 年	7	7			6 9
平成 2 2 年	2	2			6 9
平成 2 3 年	3	3			6 9
平成 2 4 年	3	3			6 9
平成 2 5 年	6	6			6 9
平成 2 6 年	1	1			6 9
平成 2 7 年	2	2			6 9
平成 2 8 年	1	1			6 9
平成 2 9 年	3	2	1 (再任用)		7 1
平成 3 0 年	1	3		1 (再任用)	6 8

24. 職員の推移

平成30年4月1日現在

階級別 年度別	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士	再 任用	合 計
平成2年	1	1	5	7	36	11	8		69
平成3年	1	2	4	10	31	12	9		69
平成4年	1	2	4	14	28	10	11		70
平成5年	1	2	3	18	26	9	10		69
平成6年	1	2	3	18	26	9	12		71
平成7年	1	2	4	19	26	8	11		71
平成8年	1	4	3	17	25	11	10		71
平成9年	1	4	3	22	22	11	8		71
平成10年	1	4	3	27	18	13	5		71
平成11年	1	4	3	28	19	12	4		71
平成12年	1	5	4	30	16	12	3		71
平成13年	1	4	4	32	15	12	3		71
平成14年	1	3	5	32	15	11	4		71
平成15年		3	9	29	15	12	5		73
平成16年		2	9	29	17	9	5		71
平成17年	1	2	8	30	16	8	6		71
平成18年	1	5	3	29	17	5	11		71
平成19年	1	5	6	27	15	6	11		71
平成20年	1	3	7	25	14	7	12		69
平成21年		2	5	23	14	6	19		69
平成22年		2	9	21	10	7	20		69
平成23年		1	13	15	12	6	22		69
平成24年		1	13	15	11	9	20		69
平成25年		1	7	15	11	10	25		69
平成26年		1	8	14	12	9	25		69
平成27年		1	9	14	9	14	22		69
平成28年		1	8	16	8	19	17		69
平成29年		1	9	15	9	18	18	1	71
平成30年		1	9	14	13	17	14		68

防 予



1. 主たる予防行事（平成29年）

- 1月25日～27日 重要文化財の予防査察
- 3月 1日～ 7日 春季全国火災予防運動
- 5月～9月 防火対象物定期点検報告制度に基づく立入検査
- 5月29日 平成29年度小豆島防火安全協会役員会
- 6月 4日～10日 危険物安全週間
- 6月 7日 平成29年度香川県危険物安全大会 (高松市)
- 6月24日 平成29年度小豆島防火安全協会定時総会
平成29年度小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会総会
- 6月28日 平成29年度小豆地区少年婦人防火委員会総会
- 8月 3日 危険物取扱者保安講習
- 9月15日 平成29年度県下予防事務担当者会議 (多度津町)
- 9月19日 婦人防火クラブ視察研修 (高知市)
- 9月20日 防火安全協会視察研修 (三田市)
- 10月25日～11月17日 移動タンク貯蔵所立入検査
- 11月 9日～15日 秋季全国火災予防運動
- 11月17日 香川県建築部局との社会福祉施設等に係る合同立入検査
- 11月24日 移動タンク貯蔵所路上検査
- 12月12日 香川県建築部局との雑居ビル等に係る合同立入検査

2. 「防火優良認定証」交付対象物状況

平成30年4月1日現在

区 分 用 途	定期点検報告制度 対 象 物 数	防 火 優 良 認 定 証 交 付 対 象 物 数	交付率 (%)
旅館・ホテル等	30	22	73.3

3. 自主防災組織の現況

平成30年6月1日現在

- 小豆島防火安全協会（会員数275事業所）
- 小豆地区少年婦人防火委員会 ———— 各地区少年消防クラブ
- 小豆地区婦人防火クラブ連絡協議会 ———— 各地区婦人防火クラブ

少年消防クラブ（５クラブ １８８名）

平成 30 年 6 月 1 日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
安 田 少年消防クラブ	昭和 2 6 年 1 2 月 8 日	9 7 名	地 区	小豆島町
坂 手 "	昭和 2 8 年 5 月 5 日	1 0 名	"	"
鹿 島 "	昭和 5 4 年 1 2 月 3 日	2 3 名	"	土 庄 町
橘 "	昭和 5 5 年 5 月 3 0 日	2 4 名	"	小豆島町
大木戸 "	昭和 5 7 年 4 月 1 日	3 4 名	"	土 庄 町

婦人防火クラブ、婦人消防クラブ（１４クラブ 944名）

平成 30 年 6 月 1 日現在

ク ラ ブ の 名 称	結 成 年 月 日	クラブ員数	組織単位	行政区
苗 羽 婦人防火クラブ	昭和 2 0 年 1 0 月 1 0 日	1 0 7 名	地 区	小豆島町
坂 手 "	昭和 2 2 年 4 月 1 日	7 0 名	"	"
草 壁 "	昭和 2 3 年 4 月 1 日	1 0 9 名	"	"
福 田 "	昭和 2 4 年 4 月 1 日	休 止	"	"
安 田 "	昭和 2 4 年 7 月 1 1 日	5 7 名	"	"
西 村 "	平成 1 3 年 4 月 1 日	9 0 名	"	"
土庄町婦人防火クラブ連合会	昭和 5 4 年 1 2 月 3 日	兼 務	"	土 庄 町
" 土庄支部	昭和 2 6 年 1 月 1 日	4 4 名	"	"
" 湊崎支部	"	1 0 0 名	"	"
" 大鐸支部	"	休 止	"	"
" 北浦支部	"	6 5 名	"	"
" 四海支部	"	7 3 名	"	"
" 豊島支部	"	休 止	"	"
池 田 婦人防火クラブ	昭和 3 7 年 1 月 7 日	2 0 4 名	"	小豆島町
馬 越 婦人消防クラブ	昭和 5 6 年 8 月 1 日	2 5 名	"	土 庄 町

4. 防火対象物現況表（150㎡以上）

平成30年4月1日現在（単位：棟）

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数	防火 対象 物数	法8 対象 物数
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	31	31	27	27	58	58
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	2	2			2	2
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1			1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店	1				1	
	ロ	飲 食 店	17	11	10	8	27	19
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	32	23	25	18	57	41
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	56	40	34	24	90	64
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	71	5	99	10	170	15
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	10	2	10	4	20	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	13	13	12	10	25	23
	ハ	老人デイサービスセンター等	10	10	12	10	22	20
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	3	3	4	3	7	6
(7)		小・中・高・大学各種学校	5	4	17	6	22	10
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	3	2	9	6	12	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等	4	3	6		10	3
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	22	10	15	7	37	17
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	139	3	194		333	3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			1		1	
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	16		5		21	
(14)		倉 庫	61		85		146	
(15)		前各項に該当しない事業場	45	20	57	20	102	40
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	56	32	55	37	111	69
	ロ	イ以外の複合用途対象物	17	1	12	1	29	2
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等	2		2		4	
合 計			617	216	691	191	1,308	407

5. 防火管理者選任届状況

平成 30 年 4 月 1 日現在（単位：棟）

項目	町 別 防火対象物区分		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	9	17	26
(2)	イ	キ ャ バ レ ー ・ カ フ ェ ー 等			
	ロ	遊 技 場 又 は ダ ン ス ホ ー ル	1		1
	ハ	性 風 俗 関 連 特 殊 営 業 店 舗 等			
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等			
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店			
	ロ	飲 食 店	6	6	12
(4)		百 貨 店 ・ マ ー ケ ッ ト ・ 店 舗 等	18	12	30
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル ・ 宿 泊 所	36	24	60
	ロ	共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎 等			
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等	2	4	6
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	10	10	20
	ハ	老 人 デ イ サービス セ ン タ ー 等	9	8	17
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校 等	4	3	7
(7)		小 ・ 中 ・ 高 ・ 大 学 各 種 学 校	3	6	9
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等	2	6	8
(9)	イ	サ ウ ナ 等			
	ロ	公 衆 浴 場			
(10)		停 車 場 等	2		2
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	7	1	8
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	3		3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ			
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場			
(14)		倉 庫			
(15)		前 各 項 に 該 当 し な い 事 業 場	19	12	31
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物	18	29	47
	ロ	イ 以 外 の 複 合 用 途 対 象 物			
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等			
合 計			149	138	287

6. 建築同意事務処理状況

(1) 町別状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日(面積：㎡)

工事別	町 別	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
		件 数	延 面 積	件 数	延 面 積	件 数	延 面 積
新	築	19	3,075.88	11	1,967.60	30	5,043.48
増	築	1	1,392.15	3	455.96	4	1,848.11
改	築						
用 途 変 更		2	1,002.82	1	124.45	3	1,127.27
移	転						
増 改 築							
大 規 模 な 修 繕							
大 規 模 な 模 様 替 え							
そ の 他		1	697.07	3	859.20	4	1,556.27
合	計	23	6,167.92	18	3,407.21	41	9,575.13

(2) 月別・工事別状況

平成29年4月1日～平成30年3月31日(面積：㎡)

区 分		工 事 別		新 築	増 築	改 築	用途変更	そ の 他	合 計
		件 数	延 面 積						
4 月	件 数	1							1
	延 面 積	103.77							103.77
5 月	件 数	1		1					2
	延 面 積	371.63	1,392.15						1,763.78
6 月	件 数	3							3
	延 面 積	450.79							450.79
7 月	件 数	3					2		5
	延 面 積	429.29					963.95		1,393.24
8 月	件 数	4							4
	延 面 積	689.10							689.10
9 月	件 数	3							3
	延 面 積	373.93							373.93
10 月	件 数	5						1	6
	延 面 積	1,012.99						697.07	1,710.06
11 月	件 数	2		1					3
	延 面 積	211.21	17.08						228.29
12 月	件 数	1		1				1	3
	延 面 積	266.47	421.34					96.00	783.81
1 月	件 数	1						1	2
	延 面 積	130.00						381.60	511.60
2 月	件 数	1		1					2
	延 面 積	55.50	17.54						73.04
3 月	件 数	5					1	1	7
	延 面 積	948.80					163.32	381.60	1,493.72
合計	件 数	30		4			3	4	41
	延 面 積	5,043.48	1,848.11				1,127.27	1,556.27	9,575.13

(3) 用途別状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 (面積: m²)

項 目		町 別 防火対象物区分	土 庄 町		小 豆 島 町		合 計	
			件 数	延面積	件 数	延面積	件数	延面積
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等						
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	2	481.11	1	388.49	3	869.60
(2)	イ	キャバレー・カフェ等						
	ロ	遊技場又はダンスホール						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
	ニ	カラオケボックス等						
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店						
	ロ	飲 食 店						
(4)		百貨店・マーケット・店舗等	1	697.07			1	697.07
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	4	2,536.65	1	124.45	5	2,661.10
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	1	371.63	3	1,144.80	4	1,516.43
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等			1	272.69	1	272.69
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等	1	266.47	1	421.34	2	687.81
	ハ	老人デイサービスセンター等	2	231.35	1	102.68	3	334.03
	ニ	幼稚園・養護学校等						
(7)		小・中・高・大学各種学校						
(8)		図 書 館 ・ 博 物 館 等						
(9)	イ	サ ウ ナ 等						
	ロ	公 衆 浴 場						
(10)		停 車 場 等						
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会	1	108.53			1	108.53
(12)	イ	工 場 又 は 作 業 場	2	104.30	4	439.74	6	544.04
	ロ	映画・テレビスタジオ						
(13)		自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場						
(14)		倉 庫	2	251.05			2	251.05
(15)		前各項に該当しない事業場	1	45.83	2	267.70	3	313.53
(16)	イ	複 合 ・ 特 定 防 火 対 象 物						
	ロ	イ以外の複合用途対象物	3	673.92			3	673.92
(17)		重 要 文 化 財 建 造 物 等						
そ の 他			2	270.01	4	245.32	6	515.33
住 宅			1	130.00			1	130.00
合 計			23	6,167.92	18	3,407.21	41	9,575.13

7. 危険物施設の現況

平成 30 年 4 月 1 日現在

町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
種 別				
製 造 所			1	1
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	2	11	13
	屋 外 貯 蔵 所	1	2	3
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	22	23	45
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	19	16	35
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	1	1	2
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	17	17	34
	小 計	62	70	132
取 扱 所	給 油 取 扱 所	23	17	40
	第 1 種 販 売 取 扱 所	3	1	4
	第 2 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	14	12	26
	小 計	40	30	70
合 計		102	101	203

8. 危険物施設の許認可状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

区 分		設 置 許 可	変 更 許 可	（ 完 成 設 置 検 査 ）	（ 完 成 変 更 検 査 ）	承 仮 使 認 用	仮 取 扱 承 認 び	選 保 安 任 監 督 者 届 者	解 保 安 任 監 督 者 届 者	廃 止 届	合 計
種 別											
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1		1				2	1		5
	屋 外 貯 蔵 所										
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所							1	1		2
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所							1	1	1	3
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所										
	小 計	1		1				4	3	1	10
取 扱 所	給 油 取 扱 所		3		4	2		4	4	1	18
	第 1 種 販 売 取 扱 所										
	第 2 種 販 売 取 扱 所										
	一 般 取 扱 所		1		1	1		2	2		7
	小 計		4		5	3		6	6	1	25
合 計		1	4	1	5	3		10	9	2	35

9. 各種届出事務処理状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

種 別 \ 町 別	土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
工事整備対象設備等着工届	15	26	41
消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届	28	94	122
消防用設備等点検結果報告	90	108	198
防火対象物使用開始届	11	21	32
防火管理者選任(解任)届	20	25	45
消防計画書作成(変更)届	39	29	68
消火・避難訓練実施届	66	109	175
り 災 証 明	8	40	48
ボ イ ラ ー 設 置 届	1	5	6
乾 燥 設 備 設 置 届	0	0	0
発電変電蓄電池設備設置届	7	20	27
ネオン管灯設備設置届	0	0	0
水素ガスを充填する気球の設置届	0	0	0
火災とまぎらわしい行為の届	9	31	40
煙火打ち上げ・仕掛届	6	8	14
催 物 開 催 届	2	0	2
露 店 の 開 設 届	30	41	71
少量危険物貯蔵取扱届	3	9	12
圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届	0	0	0
液化ガス貯蔵取扱届	0	5	5
液化石油ガス設備工事届	0	2	2
旅館等適合通知書交付申請	15	4	19
合 計	350	577	927

10. 広報・広聴実施状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

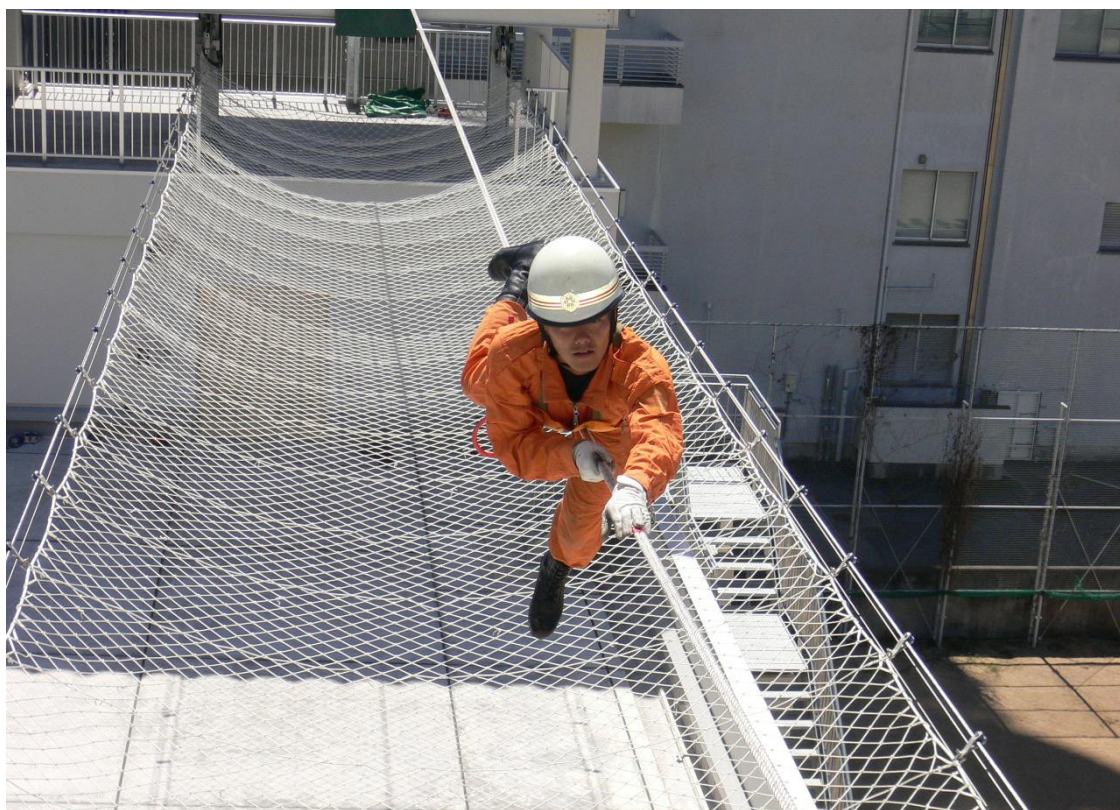
町 別 \ 種 別	土 庄 町			小 豆 島 町			合 計		
対 象	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数	回 数	対 象 人 員 数	指 導 職 員 数
学 校				1	138	10	1	138	10
幼 稚 園 等	6	270	19	10	451	49	16	721	68
旅 館	11	44	31	4	26	17	15	70	48
工場・作業場									
婦 人 会									
老 人 会									
そ の 他	19	238	60	26	314	80	45	552	140
合 計	36	552	110	41	929	156	77	1,481	266

1 1. 中高層建築物(4階以上)の現況表

平成30年4月1日現在

項 目			町 別		土 庄 町								小 豆 島 町								合 計							
			階 別 対 象 物		四	五	六	七	八	十	小	四	五	六	七	十	十三	小	四	五	六	七	八	十	十三	合		
					階	階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	計	階	階	階	階	階	階	階	計		
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館 等																										
	ロ	公会堂又は集会場	1							1								1						1				
(2)	イ	キャバレー・カフェー等	1							1								1						1				
	ロ	遊技場又はダンスホール																										
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																										
	ニ	カラオケボックス等																										
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店																										
	ロ	飲 食 店																										
(4)		百貨店・マーケット・店舗等																										
(5)	イ	旅館・ホテル・宿泊所	7	3			2	1	13					1	1	2	7	3			2	2	1	15				
	ロ	共同住宅・寄宿舎等	7	4	1	1			13	14	17	1				32	21	21	2					45				
(6)	イ	病 院 ・ 診 療 所 等									1	1	1			3		1	1	1				3				
	ロ	養 護 老 人 ホ ー ム 等		1					1	1						1	1	1						2				
	ハ	老人デイサービスセンター等	1						1	1						1	2							2				
	ニ	幼稚園・養護学校等																										
(7)		小・中・高・大学各種学校	1						1	1						1	2							2				
(10)		停 車 場 等																										
(11)		神 社 ・ 寺 院 ・ 教 会		1					1									1						1				
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 場	1						1	3	1					4	4	1						5				
	ロ	映画・テレビスタジオ																										
(14)		倉 庫																										
(15)		前各項に該当しない事業場	2			1			3	3						3	5			1				6				
(16)	イ	複合・特定防火対象物	6	1					7		1		1			2	6	2		2				9				
	ロ	イ以外の複合用途対象物	6						6		1					1	6	1						7				
(17)		重要文化財建造物等																										
合 計			33	10	1	2	2	1	49	23	21	2	2	1	1	50	56	31	3	4	2	2	1	99				

消 防 防 災



防 災 係・救 助 係

近年、建築構造・設備の高度化や生活様式の変化、さらには自然災害の様相も大きく変化しています。複雑多様化する災害から地域住民の生命、身体及び財産を保護するため、資器材の整備による防災体制の充実強化、教養訓練、防災ヘリとの合同訓練等の実施による職員の資質向上に努めています。

また、職員の若年化に伴い、各種資器材の取り扱い訓練、署長点検等により隊員・組織の消防力強化に努めています。

救 急 係

傷病者の救命率の向上や予後の改善のため、救急救命士の乗車体制を確立し、香川県メディカルコントロール協議会のもと病院前救護における救急医療の質の高度化に努めています。

高度救命資機材の整備の充実を図り、I C T（情報通信技術）を活用したスマートフォンを救急車に搭載し、患者情報・救急現場写真を医療機関に電送し詳細な情報を共有することにより、迅速な搬送並びに救命処置ができるような体制を整えています。

1. 主たる警防行事（平成29年）

1月 8日	土庄町消防出初式、小豆島町消防出初式	
3月 2日	国際消防救助隊四国地区合同訓練	(高松市)
7月 7日	平成29年度香川地区大量排出油等防除協議会定例会議	(高松市)
7月21日	第46回消防救助技術四国地区指導会	(徳島市)
8月23日	第46回全国消防救助技術大会	(仙台市)
9月10日	平成29年度香川県消防操法大会	(高松市)
10月13日	平成29年度県下警防救助事務担当者会議	(高松市)
10月20日	平成29年度中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練	(安来市)
10月24日	平成29年度香川県石油コンビナート総合防災訓練	(坂出市)
12月20日	平成29年度香川県緊急消防援助隊訓練第1回事前訓練	(高松市)

2. 主たる救急行事（平成29年）

1月22日	平成28年度香川MCL S研修会	(坂出市)
2月 6日	平成28年度第2回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
3月 3日	平成28年度事後検証症例発表会	(高松市)
3月27日	平成28年度第4回事後検証会議	(高松市)
6月12日	第4回次期香川県広域災害・救急・周産期医療情報システム検討会議	(高松市)
7月 3日	平成29年度第1回事後検証会議	(高松市)
7月10日	平成29年度第1回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
7月14日	システムに係るスマホ通信費に関する協議	(高松市)
7月29日	第31回ドクターヘリ活動検証会	(倉敷市)
7月30日	第23回香川外傷セミナーJPTECプロバイダーコース	(高松市)
9月29日	平成29年度県下救急事務担当者会議	(東かがわ市)
10月30日	平成29年度第2回事後検証会議	(高松市)
11月15日	新救急システム仕様説明会	(高松市)
11月20日	平成29年度第2回メディカルコントロール協議会検討部会	(高松市)
11月21日～22日	第26回全国救急隊員シンポジウム	(千葉市)
12月 1日	香川救命救急研究会メディカルコントロールセミナー2017	(三木町)
12月22日	平成29年度消防実務講習会（警防・救急）	(徳島市)
12月25日	平成29年度第3回事後検証会議	(高松市)

3. 消防車両等配置状況

平成30年4月1日現在

	名 称	種 別	車 名	購 入 年 月 日	備 考
西 署	指 揮 車	指揮車	トヨタ	平成24年12月13日	
	ポンプ1号車	消防ポンプ車CD-1	三菱	平成18年 3月27日	水槽 700ℓ
	ポンプ2号車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成24年 2月28日	水槽600ℓ CAFS 装置付き
	ポンプ3号車	水槽車小型動力ポンプB-2	日 野	平成29年12月18日	水槽2, 500ℓ
	は し ご 車	はしご車 35m級	日 野	平成 6年11月17日	
	救 助 工 作 車	救助工作車Ⅱ型	日 野	平成16年 3月19日	
	防 災 工 作 車	積載車	三菱	平成22年 9月22日	
	救 急 1 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成20年 1月25日	
	救 急 2 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成26年12月16日	
	査 察 広 報 車		三菱	平成22年 8月24日	
	防 火 広 報 車		スズキ	平成27年10月30日	
東 署	ポンプ4号車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成17年 3月23日	
	ポンプ5号車	消防ポンプ車CD-1	日 野	平成26年 2月24日	水槽600ℓ CAFS 装置付き
	防 災 工 作 車	積載車	三菱	平成23年 9月28日	
	救 急 3 号 車	高規格救急車 グランビア	トヨタ	平成15年 3月20日	
	救 急 4 号 車	高規格救急車 ハイエース	トヨタ	平成21年11月27日	
	査 察 広 報 車		ダイハツ	平成28年 8月29日	

4. 主な機械器具の配置状況

平成 30 年 4 月 1 日現在

器 具 別		署 所 別	西 署	東 署	合 計
放 水 器 具	消防用ホース 6 5 mm		133	116	249
	消防用ホース 5 0 mm		148	208	356
	小型動力ポンプ B-3 級		1	2	3
	小型動力ポンプ C-1 級		1	-	1
	手引ホースカー		2	2	4
	fogガン		3	2	5
	無反動ノズル		-	2	2
	放水銃		2	1	3
	集水器		9	3	12
	低発砲ノズル 8 0 0 l 型		2	1	3
	低発砲ノズル 4 0 0 l 型		2	1	3
	低発砲ノズル 2 0 0 l 型		-	3	3
	ユニット式プロポーションナー		2	1	3
	ラインプロポーションナー		3	1	4
	ピックアップ式泡ノズル		1	1	2
	ウォーターチャージャー		-	1	1
	背負式ポンプ		5	11	16
	簡易水槽		1	1	2
一 般 救 助 用 器 具	かぎ付はしご		3	1	4
	三連はしご		2	2	4
	救命索発射銃		2	2	4
	サバイバースリング又は救助用縛帯		4	5	9
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		1	1	2
	油圧スプレッダー		1	1	2
	可搬ウィンチ		2	2	4
	マット型空気ジャッキ		1	2	3
	大型油圧スプレッダー		1	1	2
切 断 用 器 具	エンジンカッター		2	2	4
	酸素溶断器		1	-	1
	チェーンソー		2	3	5
	鉄線カッター		4	8	12
	大型油圧切断機		1	1	2
	空気切断機		1	1	2
破 壊 用 器 具	万能斧		2	3	5
	削岩機		1	1	2
	ハンマードリル		3	1	4
測 定 用 器 具	複合ガス検知器		1	1	2

呼吸保護用器具	空気呼吸器	19	9	28
	予備ボンベ	23	10	33
	防塵マスク	30	26	56
	送排風機	1	－	1
隊員保護用器具	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	3	－	3
	耐電ズボン	3	－	3
	耐電長靴	3	－	3
	耐電手袋	10	6	16
	防塵メガネ	30	26	56
水難救助用器具	救命胴衣	30	25	55
	救命浮環	3	4	7
	救命ボート	3	3	6
	船外機	1	－	1
山岳救助用器具	バスケット型担架	2	2	4
その他の救助用器具	投光器	4	2	6
	携帯拡声器	9	1	10
	応急処置用セット	2	－	2
	緩降機	1	－	1
	発電機	5	3	8
その他の器具	空気充填機	1	－	1
	モッコ	1	－	1
救急器具	携帯用酸素吸入器	3	2	5
	自動体外式除細動器	3	3	6
	自動式心臓マッサージ器	1	1	2
	ショックパンツ	3	2	5
	患者監視モニター	4	2	6
	救急資機材滅菌器	1	1	2
	殺菌消毒器	1	1	2
	全脊柱固定具	3	3	6

5. 消火薬剤の備蓄状況

平成 30 年 4 月 1 日現在

署 所 別 薬剤種別	西 署	東 署	合 計
化学消火薬剤 たん白系 3 % 型	1, 680ℓ	1, 360ℓ	3, 040ℓ

6. 消防水利の現況

平成30年4月1日現在

町 別		土 庄 町	小 豆 島 町	合 計
種 別	4 0 m ³ 以 上	53	93	146
	4 0 m ³ 未 満	7	4	11
消 火 栓	1 5 0 mm 以 上	77	134	211
	1 5 0 mm 未 満	563	355	918
そ の 他	プー ル	6	10	16
	池	41	42	83
	海	38	56	94
	井 戸	13	16	29
合 計		798	710	1,508

7. 防災関係届出事務処理状況

平成29年1月1日～12月31日

署 所 別		西 署	東 署	合 計
種 別				
消防活動に支障をおよぼす恐れのある道路占用届出		25	25	50

8. 災害別出動状況

平成29年1月1日～12月31日

種別 区分	火 災		火災外		救 助		救急支援		危険物の排除		誤報 偵察等		風水害等		その他		合 計	
災 害 件 数	17 件		6 件		13 件		209 件		10 件		11 件		0 件		1 件		265 件	
出 動 内 訳	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
西 署	6	117	3	26	11	159	172	631	4	36	8	39	-	-	1	24	205	1032
東 署	9	150	3	29	2	18	37	165	6	25	3	16	-	-	-	-	60	403
合 計	15	267	6	55	13	177	209	796	10	61	11	55	-	-	1	24	265	1,435

9. 救急法指導状況

(1) 普通救命講習実施状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

講習種別	実施回数	対象延べ人数
普通救命講習Ⅰ	24	207
普通救命講習Ⅱ	0	0
普通救命講習Ⅲ	12	74
合計	36	281

(2) 救急講習会実施状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

実施回数	対象延べ人数
35	1,088

(3) 「いのちの先生」実施状況

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

実施回数	対象延べ人数
1	152

情報指令



情報指令係・情報管理係

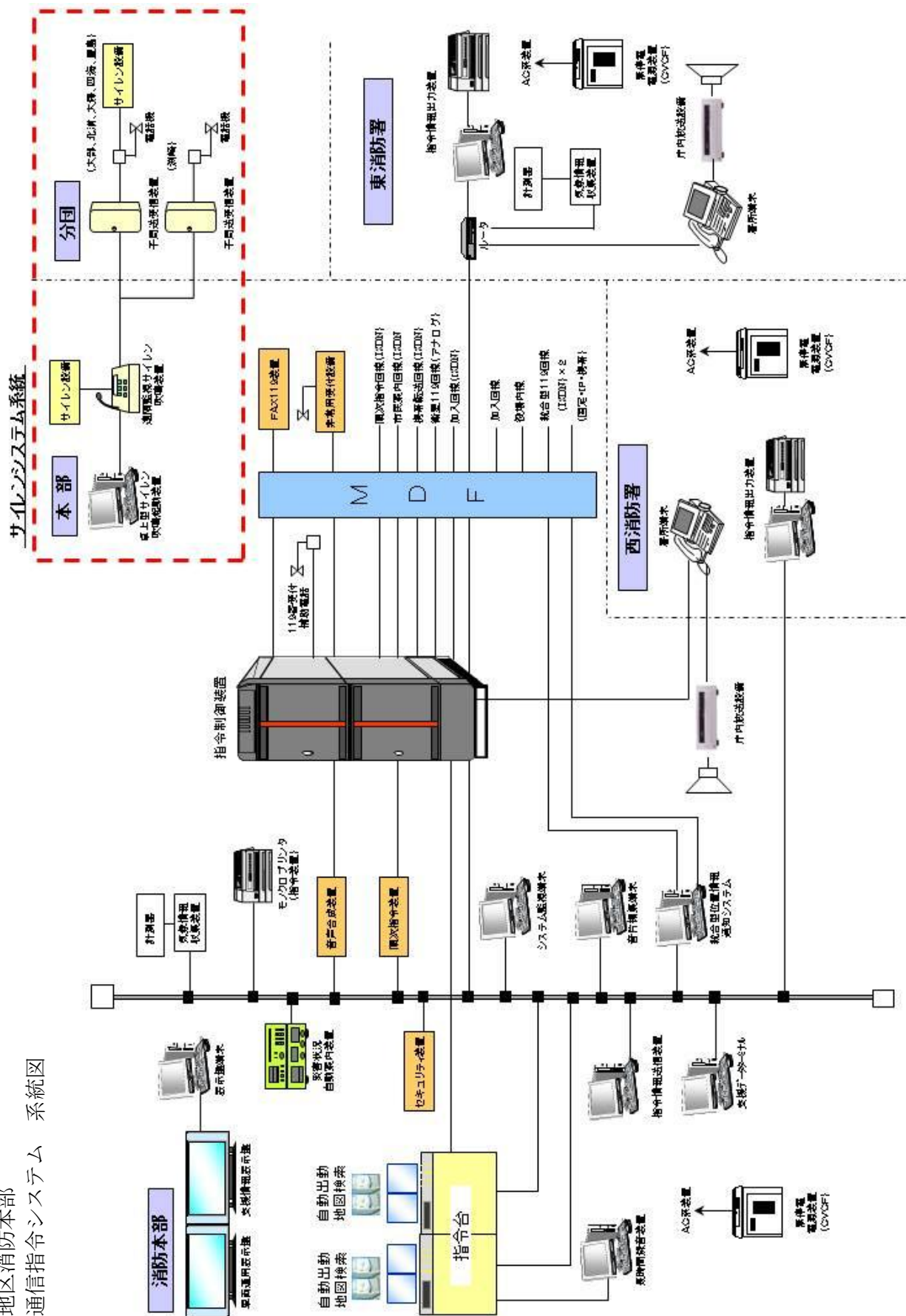
市街地等の都市構造の変化や、高齢化社会の進展に伴い、災害及び救急発生件数は年々増加し、災害態様は複雑多様化、大規模広域化の傾向にあります。

そこで、災害情報を迅速かつ正確に把握し、消防救急活動の初動体制を強化するため、平成28年3月に「高機能消防指令センター」を導入、これまでの「携帯IP電話位置情報通知システム」に加えて「統合型発信地情報システム」を整備し、情報処理技術の高度化を図っています。

また、市民案内テレホンサービスも導入し、災害情報を地域住民の皆様にも提供できるようになっています。

1. 小豆地区消防本部

消防通信指令システム 系統図



2. 通信施設状況

小豆島西消防署

平成 30 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
ポンプ 1 号車	移動局	しょうずしょうぼう にし 1	5w	○	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ 2 号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
ポンプ 3 号車	〃	〃 3	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防 災 工 作 車	〃	〃 6	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部軽四積載車	〃	〃 8	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
団本部指揮車	〃	〃 9	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指 揮 車	〃	〃 10	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
は し ご 車	〃	〃 11	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
救 助 工 作 車	〃	〃 12	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
防 火 広 報 車	〃	〃 13	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
査 察 広 報 車	〃	〃 14	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
指揮車(後部)	〃	〃 16	〃	○	○	○	○	○	○				〃
通信指令室(予備)	〃	〃 17	〃	○	○	○	○	○	○				〃
高規格救急車 1 号車	〃	しょうず きゅうきゅう にし 1	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 2 号車	〃	〃 2	〃	○	○	○	○	○	○			○	〃
西 署	〃	しょうずしょうぼう にし 100	1w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 101	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 102	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 103	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 106	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 108	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 109	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 110	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 111	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 112	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 113	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 114	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 120	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 130	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう にし 121	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 122	〃	○	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
西 署	移動局	しょうず しょうぼう	1	1w						○	○		平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃	2	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	3	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	4	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	5	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	6	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	7	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	8	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	9	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	10	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	11	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	12	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	13	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	14	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	15	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	16	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	17	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	18	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	19	〃						○	○		〃
〃	〃	〃	20	〃						○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん にし	1	5w	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう にし	1	〃	○	○	○	○	○				〃

小豆島東消防署

平成 30 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
ポンプ 4 号車	移動局	しょうず しょうぼう ひがし	4	5w	○	○	○	○	○			○	平成 28 年 3 月 7 日
ポンプ 5 号車	〃	〃	5	〃	○	○	○	○	○			○	〃
防災工作車	〃	〃	7	〃	○	○	○	○	○			○	〃
査察広報車	〃	〃	15	〃	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 3 号車	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし	3	〃	○	○	○	○	○			○	〃
高規格救急車 4 号車	〃	〃	4	〃	○	○	○	○	○			○	〃
東 署	〃	しょうず しょうぼう ひがし	104	1w	○	○	○	○	○				〃

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
東 署	移動局	〃 105	1w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
〃	〃	〃 107	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 115	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 116	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 140	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 150	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず きゅうきゅう ひがし 123	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	〃 124	〃	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず しょうぼう 21	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 22	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 23	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 24	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 25	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 26	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 27	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 28	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 29	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 30	〃							○	○		〃
〃	〃	〃 31	〃							○	○		〃
〃	〃	しょうず かはん ひがし 2	5w	○	○	○	○	○	○				〃
〃	〃	しょうず たくじょう ひがし 2	〃	○	○	○	○	○	○				〃

基地局

平成 30 年 4 月 1 日現在

設置場所	局 種	呼 出 名 称	出 力	活 動 波 1	活 動 波 2	主 運 用 波	統 制 波 1	統 制 波 2	統 制 波 3	署 活 1	署 活 2	防 災 相 互 波	開 始 年 月 日
土 庄 基 地 局	基地局	とのしょうきちきょく	10w	○	○	○	○	○	○				平成 28 年 3 月 7 日
田 井 基 地 局	〃	たいきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
内 海 基 地 局	〃	うちのみきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃
福 田 基 地 局	〃	ふくだきちきょく	〃	○	○	○	○	○	○				〃

3. 119番受信状況

平成29年1月1日～12月31日

区分 月別	火 災	救 急	救 助	その他	問い合わせ	誤 報	いたずら	訓 練 試 験	合 計
1 月	3	102	2	9	11	4	0	11	142
2 月	1	81	0	5	8	6	0	21	122
3 月	7	95	3	10	12	5	0	34	166
4 月	0	65	2	13	16	5	3	31	135
5 月	1	102	0	7	5	7	0	30	152
6 月	10	71	0	12	13	4	0	66	176
7 月	2	96	1	16	7	2	3	31	158
8 月	6	87	0	20	12	4	0	49	178
9 月	0	73	2	10	7	4	2	52	150
10月	2	94	1	14	10	3	0	36	160
11月	1	81	0	9	8	3	0	36	138
12月	4	87	0	16	9	6	0	22	144
合 計	37	1,034	11	141	118	53	8	419	1,821

4. 気象状況（観測地：消防本部）

平成29年1月1日～12月31日

区分 月別	天 気 日 数				気温(℃)		湿度(%)		最多 風向	平均 風速 (m/s)	降雨 日数	降雨量 (mm)
	晴	曇	雨	雪	最高	最低	最高	最低				
1 月	18	9	4	0	13.9	-0.7	97.4	25.0	西	3.4	5	17.0
2 月	15	10	3	0	14.1	-0.7	97.4	35.2	西南西	3.3	5	22.5
3 月	9	19	3	0	18.4	0.1	96.6	23.0	北東	2.6	4	40.5
4 月	13	14	3	0	25.2	3.9	97.5	12.5	東	2.4	9	56.5
5 月	13	14	4	0	28.2	9.5	97.5	13.8	西南西	2.3	5	44.5
6 月	9	16	5	0	30.7	12.9	97.4	20.0	北東	2.0	12	88.5
7 月	5	22	4	0	33.0	21.2	97.4	43.8	西南西	1.7	7	88.5
8 月	13	14	4	0	34.1	22.7	96.9	40.0	西南西	2.5	5	101.5
9 月	7	20	3	0	29.6	14.6	97.4	31.9	北東	2.4	8	163.0
10月	7	13	11	0	27.2	8.2	97.5	37.4	北東	2.1	17	258.0
11月	14	13	3	0	20.9	4.0	97.5	33.0	北東	2.5	7	28.5
12月	19	10	2	0	13.6	0.5	97.2	32.5	西	3.8	1	10.0
合 計	142	174	49	0							85	919.0

・天気日数、最高気温、最低気温、湿度、最多風向、平均風速は当日の観測値

5. 気象情報受理状況

平成29年1月1日～12月31日

種 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
特別警報	暴風特別警報													
	暴風雪特別警報													
	大雨特別警報													
	大雪特別警報													
	高潮特別警報													
	波浪特別警報													
	小 計													
警報	暴風警報								1	1				2
	暴風雪警報													
	大雨警報							1	1	1	1			4
	大雪警報													
	高潮警報									1				1
	波浪警報								1	1				2
	洪水警報								1	1				2
	小 計							1	4	5	1			11
注意報	風雪注意報	1	1											2
	強風注意報	6	6	4	5	1	1	1	2	2	2	5	7	42
	大雨注意報						1	5	2	3	3			14
	大雪注意報	1												1
	高潮注意報							1	1	2				4
	波浪注意報	6	5	4	5	1	1	1	2	2	2	5	7	41
	洪水注意報						1	2	2	3	2			10
	着雪注意報													
	乾燥注意報	5	6	5	5	4	3		2	1		2	5	38
	濃霧注意報				2	1								3
	霜 注意報		1	14	2									17
	なだれ注意報													
	融雪注意報													
	低温注意報													
	着氷注意報													
	雷 注意報	3	4	2	5	4	4	23	13	5	3	1	2	69
	小 計	22	23	29	24	11	11	33	24	18	12	13	21	241
合 計		22	23	29	24	11	11	34	28	23	13	13	21	252

火災統計



火 災 統 計

1. 火災発生状況

平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

区 分 \ 町 別		土 庄 町		小 豆 島 町				合 計			
				内 海 方 面		池 田 方 面					
		28 年		29 年		28 年		29 年		28 年	
全 火 災	件 数	4	8	9	6	2	3	15	17		
	損害額 千円	8,531	11,473	4,842	21,165	429	2,444	13,802	35,082		
火 災 種 別	建 物	件 数	4	5	7	5	1	2	12	12	
		焼損床面積 m ²	132	143.9	241	287.2	12	119	385	550.1	
		焼損表面積 m ²	20	3	5	66			25	69	
		損 害 額 千 円	8,531	4,498	4,740	20,200	419	398	13,690	25,096	
	林 野	件 数		1						1	
		焼 損 面 積 a		40.78						40.78	
		損 害 額 千 円		6,975						6,975	
	車 両	件 数						1		1	
		損 害 額 千 円						2,046		2,046	
	船 舶	件 数									
		損 害 額 千 円									
	航空機	件 数									
		損 害 額 千 円									
	その他	件 数		2	2	1	1		3	3	
		焼 損 面 積 a		3	2	16	2		4	19	
		損 害 額 千 円			102	965	10		112	965	
り 災 世 帯 数		4	3	5	4	2	1	11	8		
り 災 者 数 (人)		7	6	8	9	4	1	19	16		
死 者 (人)					1				1		
負 傷 者 (人)				3	3		1	3	4		
出火率（1万人あたり）(件)		2.75	5.6	※7.2	※6.0	※7.2	※6.0	5.0	5.8		

※小豆島町の出火率は両方面合計したもの

土 庄 町人口 14,233 人

小豆島町人口 14,992 人 (平成 29 年 12 月 1 日現在 住民基本台帳による)

(内海 10,444 人 池田 4,548 人)

2. 時間別火災状況

区 分 時間別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積						損害額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林 野 a	そ の 他 a	船 舶	航 空 機	
								床面積 ㎡	表面積 ㎡					
0 時～ 1 時														
1 ～ 2	1	1						180						15, 295
2 ～ 3														
3 ～ 4														
4 ～ 5														
5 ～ 6	1						1				16			965
6 ～ 7	1	1						66	3					3, 475
7 ～ 8														
8 ～ 9														
9 ～ 1 0														
1 0 ～ 1 1														
1 1 ～ 1 2														
1 2 ～ 1 3														
1 3 ～ 1 4	2	1		1										2, 048
1 4 ～ 1 5	4	1	1				2	95		40. 78	3			6, 988
1 5 ～ 1 6	1	1						24						385
1 6 ～ 1 7	2	2						143	3					4, 394
1 7 ～ 1 8														
1 8 ～ 1 9	1	1												2
1 9 ～ 2 0														
2 0 ～ 2 1	1	1						0. 2						25
2 1 ～ 2 2														
2 2 ～ 2 3	1	1						41	61					1, 403
2 3 ～ 2 4														
不 明	2	2						0. 9	2					102
合 計	17	12	1	1			3	550. 1	69	40. 78	19			35, 082

3. 月・曜日別火災状況

月別 曜日別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計	損害額 (千円)
月						2							2	2,458
火							1					1	2	6,977
水	1		1										2	1,949
木		1											1	2
金										1		1	2	17,341
土			2					1				1	4	5,263
日									1		1		2	990
不 明							1	1					2	102
合 計	1	1	3			2	2	2	1	1	1	3	17	35,082

4. 月別火災状況

月別 種別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
建 物		1	2			2	2	2		1	1	1	12
林 野												1	1
車 両												1	1
船 舶													
航空機													
その他	1		1						1				3
合 計	1	1	3			2	2	2	1	1	1	3	17

5. 覚知別火災状況

覚知別 署所別	1 1 9	加入電話	駆け付け	事後覚知	その他	計	損害額 (千円)
西 署	6			2		8	11,473
東署（内海方面）	3	2		1		6	21,165
東署（池田方面）	3					3	2,444
合 計	12	2		3		17	35,082

6. 原因別火災状況

区 分 原因別	火 災 件 数	火 災 種 別						焼 損 面 積				損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	建 物		林	そ の 他	
								床面積 m ²	表面積 m ²	野 _a	他 _a	
ガ ス コ ン ロ												
不 明	3	2					1	246	3		1	18,770
子 供 の 火 遊 び	1						1				2	
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	1	1							2			2
電 気 装 置	3	3						0.9				104
取 灰												
マ ッ チ	1	1						0.2				25
放 火												
放 火 の 疑 い												
そ の 他	8	5	1	1			1	303	64	40.78	16	16,181
合 計	17	12	1	1			3	550.1	69	40.78	19	35,082

7. 建物火災用途別火災状況（月別）

月別 用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	床面積 m ²	表面積 m ²	損害額 (千円)
住 宅			2								1		3	41.2		2,359
住 宅・物 置						1							1	126	3	2,445
店 舗							1						1			2
納 屋																
倉 庫								1					1		2	2
その他の建築物		1				1	1	1		1		1	6	382.9	64	20,288
合 計		1	2			2	2	2		1	1	1	12	550.1	69	25,096

8. 過去10ヶ年火災状況

年別 区分	火 災 件 数				損 害 額 (千円)			
	土庄町	小豆島町		計	土庄町	小豆島町		計
		内海方面	池田方面			内海方面	池田方面	
平成20年	6	8	1	15	3,182	816	30	4,028
平成21年	8	8	5	21	10,583	40,688	562	51,833
平成22年	3	5	4	12	2,379	4,002	683	7,064
平成23年	7	5	7	19	3,755	2,219	31,655	37,629
平成24年	5	3	5	13	5,064	7,477	591	13,132
平成25年	2	6	3	11	0	9,870	5,285	15,155
平成26年	10	9	3	22	3,394	952	1,412	5,758
平成27年	4	4	0	8	216	200	0	416
平成28年	4	9	2	15	8,531	4,842	429	13,802
平成29年	8	6	3	17	11,473	21,165	2,444	35,082
10年間平均	6	6	3	15	4,858	9,223	4,309	18,390

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

救 急 統 計



救 急 統 計

1. 事故別救急出場状況

平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日

月 別 事 故 別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
出 場 件 数		138	112	136	91	143	93	131	115	108	119	119	123	1,428
搬 送 人 員		126	106	128	85	134	85	123	107	97	112	106	114	1,323
火 災	出場件数	0	0	1	0	0	2	1	2	0	1	0	1	8
	搬送人員	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
自然災害	出場件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水 難	出場件数	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	5
	搬送人員	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4
交通事故	出場件数	6	7	13	9	18	8	7	11	8	6	6	5	104
	搬送人員	5	7	13	8	16	8	6	12	7	7	4	5	98
労働災害	出場件数	2	2	2	0	1	0	1	3	0	1	1	3	16
	搬送人員	2	2	2	0	1	0	1	3	0	1	1	2	15
運動競技	出場件数	0	0	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	6
	搬送人員	0	0	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	6
一般負傷	出場件数	21	19	21	21	37	14	24	17	19	24	21	27	265
	搬送人員	19	19	20	19	35	13	23	16	15	20	18	26	243
加 害	出場件数	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
	搬送人員	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
自損行為	出場件数	2	0	1	0	1	1	1	1	1	2	2	1	13
	搬送人員	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	8
急 病	出場件数	86	62	67	42	56	48	76	63	59	67	65	66	757
	搬送人員	78	55	60	39	52	45	71	58	55	65	58	61	697
そ の 他	出場件数	20	22	30	18	27	19	20	15	19	17	24	20	251
	搬送人員	20	23	30	18	26	18	20	15	18	17	24	18	247

2. 覚知別救急出場状況

覚 知 別	119番	一般加入	駆け付け	そ の 他	計
救 急 件 数	1,058	350	11	9	1,428

3. 医療機関等収容可能状況照会回数（救急出場時）

照 会 回 数	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回 以 上	計
搬 送 人 員	1,319	4	0	0	0	0	1,323

4. 救急隊員の行った応急処置数

事 故 別 処 置 別		急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合 計
応 急 処 置 対 象 人 員		697	96	243	284	1,320
止 血		3	6	17	5	31
固 定		25	61	127	29	242
人 工 呼 吸		12			3	15
心 肺 蘇 生		36	1	3	9	49
酸 素 吸 入		190	6	25	83	304
気 道 確 保		49	2	7	12	70
保 温		246	16	68	83	413
被 覆		7	34	58	9	108
在 宅 療 法 継 続		19	1	2		22
ショックパンツによる血圧保持						
除 細 動		3				3
血 糖 測 定		14	1			15
静 脈 路 確 保	(C P A前)	7			1	8
	(C P A後)	19	1	1	3	24
ブ ド ウ 糖 投 与		4				4
薬 剤 投 与		16	1		2	19
そ の 他 の 応 急 処 置		658	82	205	165	1,110
血 圧 測 定		652	91	232	249	1,224
心 音 ・ 呼 吸 音 等 の 聴 取		428	62	98	45	633
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		659	89	235	274	1,257
心 電 図		580	39	124	121	864

5. 時間別救急出場状況

時間別 事故別	0～	2～	4～	6～	8～	10～	12～	14～	16～	18～	20～	22～	計
急 病	46	22	33	67	84	87	84	67	64	99	57	47	757
交 通 事 故	1	0	1	7	15	14	22	11	19	13	1	0	104
一 般 負 傷	5	6	2	20	46	39	38	27	27	24	23	8	265
転 院 搬 送	6	2	5	12	29	39	60	37	28	14	8	6	246
そ の 他	4	0	1	2	4	10	9	11	3	4	2	6	56
合 計	62	30	42	108	178	189	213	153	141	154	91	67	1,428

6. 曜日別救急出場状況

曜 日 別	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	合 計
救 急 件 数	249	182	221	178	216	196	186	1,428

7. 現場到着所要時間別出場状況

時間 事故別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	平均所要時間 (分)
急 病	7	98	411	191	50	757	8.8
交 通 事 故	5	23	46	24	6	104	8.0
一 般 負 傷	3	49	135	60	18	265	8.5
そ の 他	13	12	48	222	7	302	11.4
合 計	28	182	640	497	81	1,428	

8. 収容所要時間別搬送人員

所要時間 事故別	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		合 計	
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
急 病			11		211		433		42				697	
交通事故			5		37		48		8				98	
一般負傷			1		66		161		15				243	
そ の 他			11		58		127		75	73	14	14	285	87
合 計			28		372		769		140	73	14	14	1,323	87

9. 年齢区分別搬送人員

事故別 年齢別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児											1	1
乳幼児				3			3			7	17	30
少年				5		2	1		1	7	1	17
成年	1		2	45	10	4	40	1	7	152	66	328
高齢者	1		2	45	5		199	2		531	162	947
合計	2		4	98	15	6	243	3	8	697	247	1,323

10. 発生場所別搬送人員

事故別 場所別	住宅	公衆場所	仕事場	道路	その他	合計
急病	521	125	14	25	12	697
交通事故		5		89	4	98
一般負傷	154	40	3	29	17	243
その他	9	251	12	6	7	285
合計	684	421	29	149	40	1,323

11. 管轄外転院搬送件数

搬送種別 年別	巡視艇	高松市消防局 救急艇	ヘリコプター	フェリー	海上タクシー (高速艇等)	その他	合計
平成22年	1	0	46	112	18(0)		177
平成23年	3	19	47	104	8(3)		181
平成24年		33	33	97	2(1)		165
平成25年	1	19	48	85	1(0)		154
平成26年	3	31	56	86	1(1)	1	178
平成27年		24	92	82		1	199
平成28年		28	85	76	1(0)		190
平成29年	2	29	121	86			238

1 2. 傷病程度別搬送人員

事故別 傷病程度	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡			3	1			3		5	32		44
重 症	2			7	4	1	44		1	92	14	165
中 等 症				26	4	1	85	1	1	282	83	483
軽 症			1	64	7	4	111	2	1	291	2	483
そ の 他											148	148
合 計	2	0	4	98	15	6	243	3	8	697	247	1,323

1 3. 小豆2町、年別救急出場状況

町 別	年 別	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	10年間 平 均
土庄町	出場件数	620	577	688	599	651	649	588	607	523	555	606
	搬送人員	585	528	629	552	581	594	538	558	472	512	555
小豆島町	内海方面	出場件数	428	450	541	511	488	516	440	517	440	482
		搬送人員	408	433	528	482	449	472	393	466	393	446
	池田方面	出場件数	167	188	177	200	198	184	284	166	284	214
		搬送人員	158	178	166	189	187	169	271	160	271	203
郡 外	出場件数	1	1	1	1	1						1
	搬送人員	1	1	1	1	1						1
合 計	出場件数	1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,302
	搬送人員	1,152	1,140	1,324	1,224	1,218	1,235	1,102	1,184	1,136	1,323	1,204

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

1 4. 過去10ヶ年の主な救急出場状況

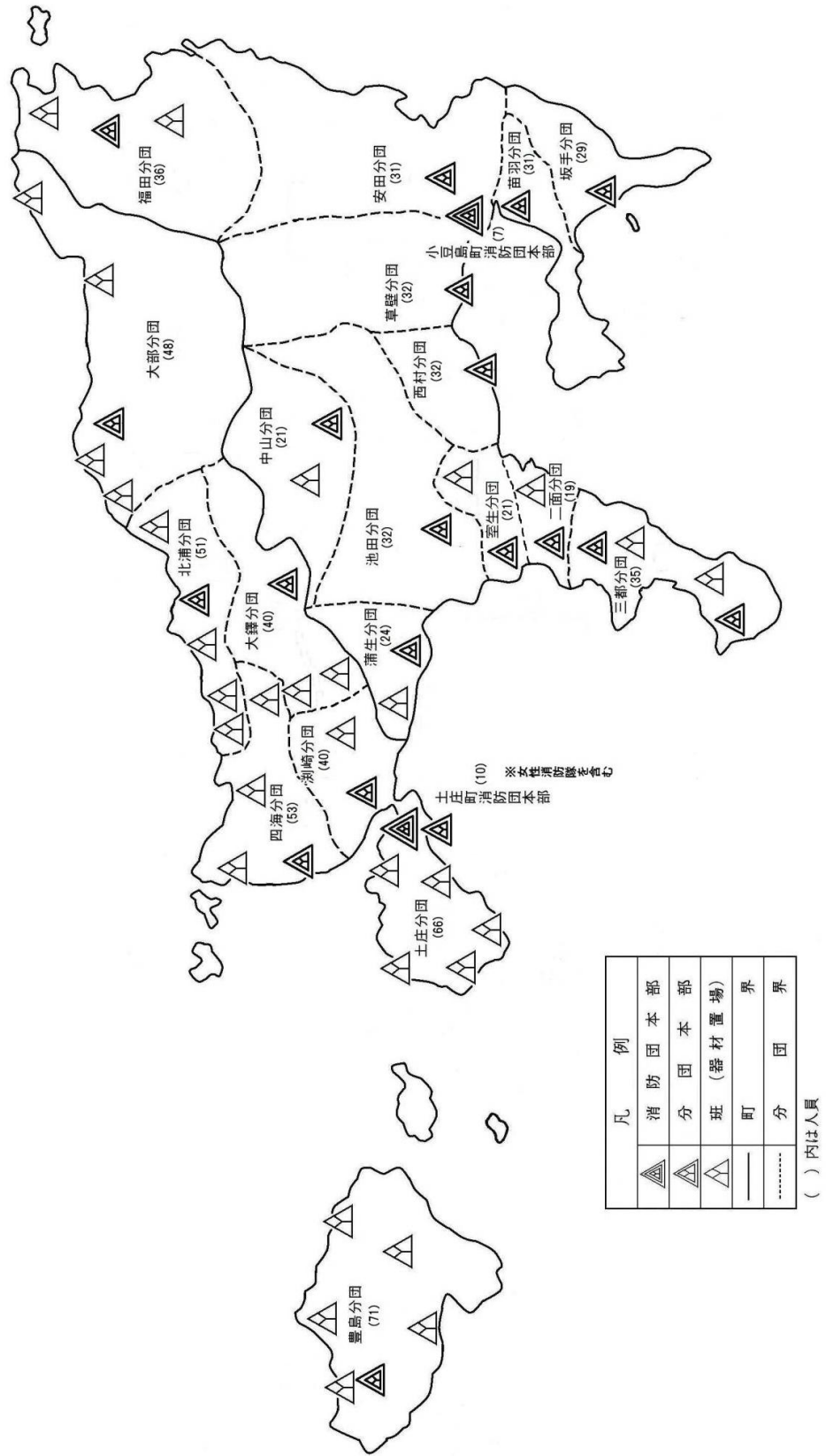
町 別	年 別	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年	28 年	29 年	10年間 平 均
急 病		671	688	782	778	767	799	700	730	717	757	739
交通 事故		107	95	114	89	99	81	84	106	97	104	98
一 般 負 傷		180	181	237	189	223	215	198	191	185	265	206
そ の 他		258	252	274	255	249	254	238	263	248	302	259
合 計		1,216	1,216	1,407	1,311	1,338	1,349	1,220	1,290	1,247	1,428	1,302

※10年間平均については小数点以下を四捨五入したもの

消 防 団

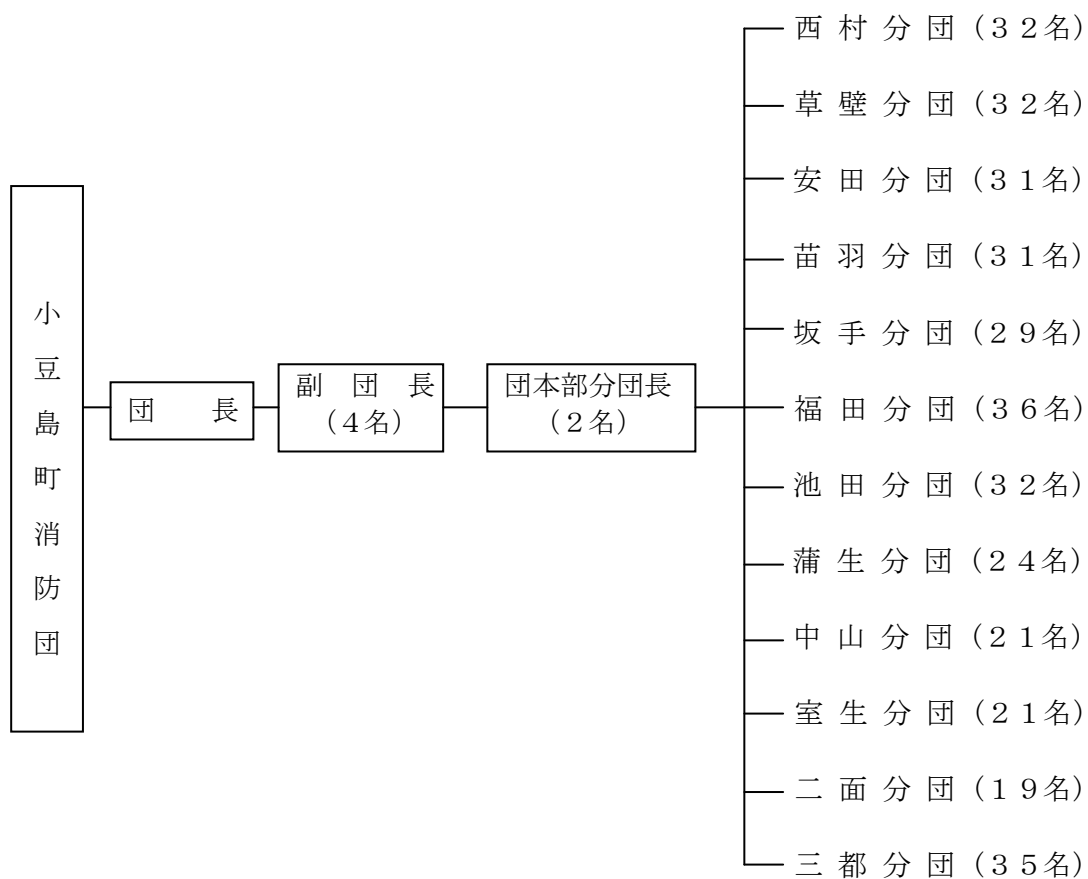
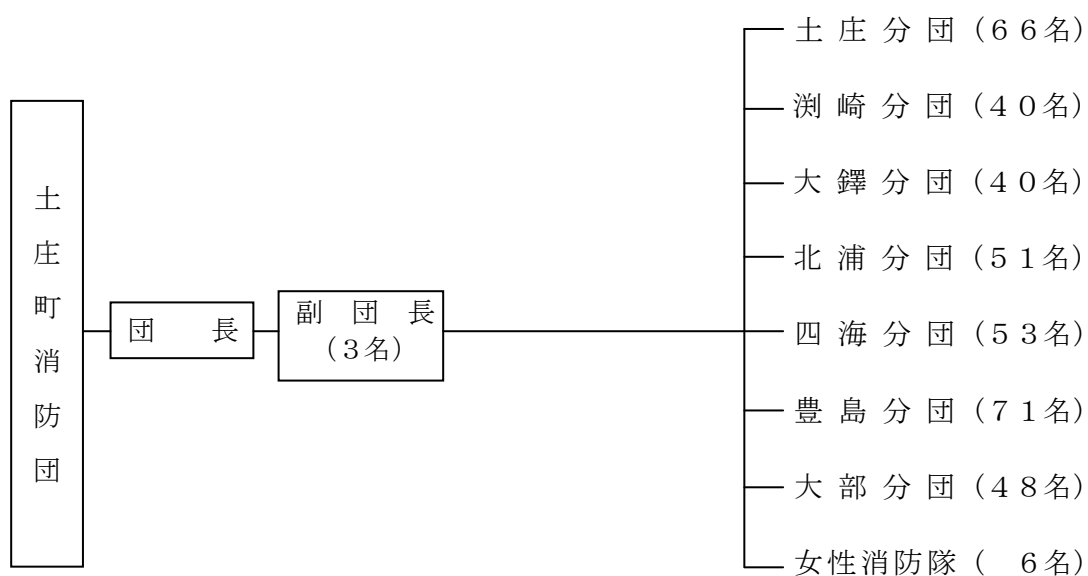


1.2 町消防団現勢分布図



2. 消防団の組織・機構

平成30年4月1日現在



3. 消防団員の勤務年数及び年齢
(勤務年数)

平成30年4月1日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 年 未 満	2 2	6	2 8
1 年 ～ 5 年	8 4	5 2	1 3 6
5 年 ～ 1 0 年	8 8	5 5	1 4 3
1 0 年 ～ 1 5 年	7 8	7 4	1 5 2
1 5 年 ～ 2 0 年	5 3	6 4	1 1 7
2 0 年 ～ 2 5 年	3 2	4 5	7 7
2 5 年 ～ 3 0 年	1 2	2 1	3 3
3 0 年 ～ 3 5 年	6	2 4	3 0
3 5 年 以 上	4	9	1 3
合 計	3 7 9	3 5 0	7 2 9
平 均 勤 続 年 数	1 0 . 5	1 4 . 7	1 2 . 6

(年齢)

平成30年4月1日現在

団 別 年齢別	土 庄 町 消 防 団	小 豆 島 町 消 防 団	合 計
1 8 才 ～ 2 0 才	0	0	0
2 1 才 ～ 2 5 才	8	7	1 5
2 6 才 ～ 3 0 才	3 7	3 4	7 1
3 1 才 ～ 3 5 才	6 7	4 9	1 1 6
3 6 才 ～ 4 0 才	8 6	7 5	1 6 1
4 1 才 ～ 4 5 才	1 0 1	5 8	1 5 9
4 6 才 ～ 5 0 才	3 5	6 1	9 6
5 1 才 ～ 5 5 才	2 0	3 5	5 5
5 6 才 ～ 6 0 才	1 3	2 5	3 8
6 1 才 以 上	1 2	6	1 8
合 計	3 7 9	3 5 0	7 2 9
平 均 年 齢	4 0 . 5	4 2 . 0	4 1 . 3

4. 消防団員数及び装備状況
(団員数)

平成30年4月1日現在

階級別 団 別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
土 庄 町 消 防 団	1	3	7	7	1 4	4 8	2 9 9	3 7 9
小 豆 島 町 消 防 団	1	4	1 4	1 3	1 3	5 6	2 4 9	3 5 0
合 計	2	7	2 1	2 0	2 7	1 0 4	5 4 8	7 2 9

(装備状況)

平成30年4月1日現在

種 別 団 別	ポ ン プ 車	積 載 車	小型動力ポンプ	無 線 機
土庄町消防団	7	29	33	29
小豆島町消防団	3	21	19	58
合 計	10	50	52	87

5. 町別消防車両等種別現況

平成30年4月1日現在

			種 別	年式	車 名	ポ ン プ 型 式	馬力数	購入年月日
土 庄 町 消 防 団	団 本 部	指 揮 車		H28	トヨタ		110	H28. 3.14
		積 載 車		H 7	日 産		98	H 7.12.26
		軽四積載車		H 6	スズキ		28	H 6. 5.23
	土 庄 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H25	日 野	二段バランスタービン	150	H25. 9. 3
		軽四積載車		H28	三 菱		50	H28. 3. 8
		軽四積載車		H29	三 菱		50	H29.11. 1
		軽四積載車		H 3	スズキ		30	H 3. 6.28
		軽四積載車		H25	三 菱		50	H25.11. 1
		軽四積載車		S62	ダイハツ		30	S62. 5.27
		軽四積載車						
	湊 崎 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H 5	三 菱	二段バランスタービン	130	H 5. 9.30
		軽四積載車		H24	三 菱		48	H24.10.12
	大 鐸 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H15	イ ス ズ	二段バランスタービン	130	H15. 2.25
		軽四積載車		H18	ダイハツ		33	H18. 2. 9
		軽四積載車		H13	三 菱		30	H13.11. 5
		軽四積載車		H10	三 菱		30	H10. 4.16
	北 浦 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H 7	三 菱	二段バランスタービン	130	H 7. 8.25
		軽四積載車		H 8	三 菱		30	H 8.11.12
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 4.28
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3.11. 7
		軽四積載車		H 3	ホ ン ダ		38	H 3.11. 7
	四 海 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H 9	三 菱	二段バランスタービン	130	H 9. 9. 2
		軽四積載車		H 9	ホ ン ダ		38	H 9. 3.12
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 2.27
		軽四積載車		H 4	ホ ン ダ		38	H 4. 4.28
	豊 島 分 団	ポ ン プ 車	A-2	H12	三 菱	二段バランスタービン	130	H12. 9.25
		軽四積載車		H 2	三 菱		30	H 2.11. 8
		軽四積載車		H25	ダイハツ		53	H25.10.22
		軽四積載車		H18	三 菱		35	H18. 2. 9
		軽四積載車		S63	三 菱		30	S63. 7. 1
		軽四積載車		H22	ダイハツ		49	H22.11.16
	大 部 分 団	軽四積載車		H18	ホ ン ダ		46	H18. 7.17
		ポ ン プ 車	A-2	H27	日 野	二段バランスタービン	150	H27. 2.19
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6.17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6.17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6.17
		軽四積載車		H 6	三 菱		42	H 6. 6.17
		軽四積載車		S63	三 菱		30	S63.11.21

小豆島町消防団	団本部	積載車		H 8	トヨタ		105	H 8. 10. 23
		積載車		H 6	日産		91	H 6. 1. 28
		軽四積載車		H13	スバル		34	H13. 4. 1
	西村分団	積載車		H19	三菱		110	H19. 3. 19
		軽四積載車		S62	スズキ		28	S62. 11. 27
	草壁分団	積載車		H19	日産		98	H19. 2. 19
		積載車		H 4	トヨタ		105	H 4. 8. 28
	安田分団	積載車		H12	三菱		105	H12. 8. 29
		軽四積載車		H 7	スズキ		42	H 7. 7. 24
	苗羽分団	積載車		H22	イスズ		110	H22. 3. 26
		積載車(人搬)		H 9	日産		98	H 9. 9. 18
	坂手分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 3. 23
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 9. 27
	福田分団	ポンプ車	A-2	H27	日野	二段バランスタービン	150	H27. 2. 19
		軽四積載車		H 8	スズキ		42	H 8. 3. 18
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12. 11. 9
		軽四積載車		H12	スズキ		49	H12. 11. 10
	池田分団	ポンプ車	A-2	H 7	三菱	二段バランスタービン	110	H 7. 10. 12
	蒲生分団	積載車		H13	三菱		94	H13. 9. 4
	中山分団	積載車		H12	三菱		94	H12. 2. 28
	室生分団	積載車		H15	三菱		94	H15. 9. 3
	二面分団	積載車		H10	トヨタ		91	H10. 3. 10
	三都分団	積載車		H14	三菱		94	H14. 8. 20
		積載車		H11	三菱		94	H11. 3. 17

6. 消防団員報酬調

平成30年4月1日現在

階級 団別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土庄町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000
小豆島町消防団	75,000	60,000	47,000	33,000	25,000	21,000	17,000

7. 消防団員諸手当調

平成30年4月1日現在

区分 団別	水・火災出動 (1回あたり)	警戒出動 (1回あたり)	訓練出動 (1回あたり)
土庄町消防団	2,000	2,000	2,000
小豆島町消防団	2,000	2,000	2,000